

# SIEMENS

## SIMATIC Automation License Manager

プログラミング/操作マニュアル

製品概要

1

インストール

2

Automation License Manager  
での作業

3

Automation License Manager  
のアイコン

4

Automation License Manager  
のメニューコマンド

5


Automation License Manager  
のダイアログ


6


## 法律上の注意

### 警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。以下に表示された注意事項は、危険度によって等級分けされています。

 <b>危険</b>
回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。

 <b>警告</b>
回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。

 <b>注意</b>
回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。

<b>通知</b>
回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。


複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

### 有資格者

本書が対象とする製品 / システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品 / システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

### シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

 <b>警告</b>
シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許可がある場合に限りです。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記述されている指示を遵守してください。

### 商標

®マークのついた称号はすべて **Siemens AG** の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

### 免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版で更新いたします。

# 目次

<b>1</b>	<b>製品概要.....</b>	<b>7</b>
1.1	Automation License Manager の紹介.....	7
1.2	ファンクションの概要.....	8
1.3	Automation License Manager のライセンス.....	9
1.4	提供範囲.....	12
1.5	「ライセンス管理のサポート」によるワールドワイドの支援.....	12
<b>2</b>	<b>インストール.....</b>	<b>13</b>
2.1	インストール要件.....	13
2.2	Automation License Manager のインストール.....	14
2.3	Automation License Manager のアンインストール.....	15
2.4	プラグインのインストール.....	15
2.5	ライセンスのアップグレード.....	16
2.6	「古いソフトウェアバージョン」の使用に関する注記.....	17
2.7	ハードディスクの最適化に関する注記.....	18
<b>3</b>	<b>Automation License Manager での作業.....</b>	<b>21</b>
3.1	ユーザーインターフェース.....	21
3.1.1	Automation License Manager のユーザーインターフェース.....	21
3.1.2	オブジェクト領域のテーブル列.....	23
3.1.3	Automation License Manager の設定.....	25
3.1.4	プログラム実行遅延時のフィードバック.....	27
3.1.5	Automation License Manager のステータスアイコン.....	28
3.1.6	ツールバーのアイコン.....	30
3.1.7	キーボードショートカット.....	32
3.2	Automation License Manager の表示.....	32
3.2.1	標準ビュー.....	32
3.2.2	[管理]、[検索]、および[ログ]ビューの概要.....	33
3.2.3	[管理]ビューでの作業.....	34
3.2.4	[ビュー]ドロップダウンリスト.....	36
3.2.5	[検索]ビューでの作業.....	36
3.2.6	[ログ]および[チェックアウトログ]ビューでの作業.....	37
3.3	ライセンスキーの取り扱い.....	39
3.3.1	ライセンスキーのインストール.....	39

3.3.2	インストール済みライセンスキーの表示.....	39
3.3.3	インストール済みソフトウェアの表示.....	40
3.3.4	ライセンスキーの確認.....	41
3.3.5	ライセンスキーの転送.....	42
3.3.6	ライセンスキーの回復.....	44
3.3.7	ウィザードを使用したライセンスキーの回復.....	45
3.3.8	フォルダ内のキーの管理.....	45
3.3.9	フォルダの作成.....	48
3.3.10	ライセンス要求の決定および同期化.....	49
3.3.11	ライセンスキーのオフライン転送の概要.....	51
3.3.12	オフライン転送 - 開始コードの生成.....	52
3.3.13	オフライン転送 - 要求コードを生成する.....	53
3.3.14	オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する.....	55
3.3.15	オフライン転送 - ライセンスキーの有効化.....	56
3.3.16	ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンスプロファイルファイル.....	58
3.4	Web ライセンスキーのダウンロード.....	59
3.4.1	Web ライセンスキーのダウンロードの基本.....	59
3.4.2	Web ライセンスキーのダウンロード.....	60
3.4.3	Web ライセンスキーのダウンロード用ボタンの概要.....	61
3.5	ネットワークでのライセンスキーの使用.....	62
3.5.1	ネットワークの既存ライセンスキーの参照.....	62
3.5.2	ネットワーク経由で接続されたコンピュータ.....	64
3.5.3	ネットワークのコンピュータの参照.....	65
3.5.4	コンピュータ接続のエラー.....	65
3.6	Automation License Manager に対するアクセス保護.....	68
3.6.1	SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護.....	68
3.6.2	Automation License Manager のファンクション権限およびロール.....	69
3.6.3	ロール管理の呼び出しおよび有効化.....	70
4	Automation License Manager のアイコン.....	73
4.1	ツールバーのアイコン.....	73
5	Automation License Manager のメニューコマンド.....	75
5.1	メニューコマンドの概要.....	75
5.2	[ファイル]メニュー.....	75
5.2.1	[ファイル]メニューの概要.....	75
5.2.2	[エクスポート] ([ファイル]メニュー).....	76
5.2.3	[ページ設定] ([ファイル]メニュー).....	77
5.2.4	[印刷プレビュー] ([ファイル]メニュー).....	77
5.2.5	[印刷] ([ファイル]メニュー).....	77
5.2.6	[設定] ([ファイル]メニュー).....	78
5.2.7	[ログオンの切り替え] ([ファイル]メニュー).....	79
5.2.8	ロール管理([ファイル]メニュー).....	79

5.2.9	[終了] ([ファイル]メニュー).....	81
5.3	[編集]メニュー.....	81
5.3.1	[編集]メニューの概要.....	81
5.3.2	[元に戻す] ([編集]メニュー).....	83
5.3.3	[やり直し] ([編集]メニュー).....	83
5.3.4	[コンピュータの接続] ([編集]メニュー).....	83
5.3.5	[新規フォルダ] ([編集]メニュー).....	84
5.3.6	[切り取り] ([編集]メニュー).....	85
5.3.7	[貼り付け] ([編集]メニュー).....	86
5.3.8	[名前の変更] ([編集]メニュー).....	86
5.3.9	削除([編集]メニュー).....	86
5.3.10	[ログの削除] ([編集]メニュー).....	87
5.3.11	[すべて選択] ([編集]メニュー).....	87
5.3.12	[選択の反転] ([編集]メニュー).....	87
5.4	[ライセンスキー]メニュー.....	88
5.4.1	[ライセンスキー]メニューの概要.....	88
5.4.2	[転送] ([ライセンスキー]メニュー).....	89
5.4.3	ライセンス要求の同期化 ([ライセンスキー]メニュー).....	89
5.4.4	[オフライン転送] ([ライセンスキー]メニュー).....	90
5.4.5	[チェック] ([ライセンスキー]メニュー).....	91
5.4.6	[復元] ([ライセンスキー]メニュー).....	91
5.4.7	[復元ウィザード] ([ライセンスキー]メニュー).....	91
5.4.8	[アップグレード] ([ライセンスキー]メニュー).....	92
5.5	[ビュー]メニュー.....	92
5.5.1	[ビュー]メニューの概要.....	92
5.5.2	[定義] ([ビュー]メニュー).....	93
5.5.3	[管理] ([ビュー]メニュー).....	93
5.5.4	[検索] ([ビュー]メニュー).....	94
5.5.5	[ログ] ([ビュー]メニュー).....	96
5.5.6	[更新] ([ビュー]メニュー).....	96
5.5.7	[ツールバー] ([ビュー]メニュー).....	97
5.5.8	[ステータスバー] ([ビュー]メニュー).....	99
5.6	[ヘルプ]メニュー.....	100
5.6.1	[Automation License Manager についてのヘルプ].....	100
5.6.2	コンテキスト依存ヘルプ.....	100
5.6.3	バージョン情報.....	101
<b>6</b>	<b>Automation License Manager のダイアログ.....</b>	<b>103</b>
6.1	[ビューの定義]ダイアログ.....	103
6.2	[ビューの定義]ダイアログの[列]タブ.....	105
6.3	[ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ.....	107
6.4	[ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ.....	109

6.5	[ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ.....	111
6.6	[新規フォルダの挿入]ダイアログ.....	113
6.7	[フォルダまたはコンピュータの検索]ダイアログ.....	113
6.8	[バージョン情報]ダイアログ.....	114
6.9	[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ.....	114
6.10	[ライセンス要求の同期化]ダイアログ.....	115
6.11	[ライセンスキーの転送]ダイアログ.....	116
6.12	[設定]ダイアログ.....	117
6.13	[設定]ダイアログの[全般]タブ.....	118
6.14	[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ.....	119
6.15	[設定]ダイアログの[接続]タブ.....	120
6.16	[設定]ダイアログの[リセット]タブ.....	121
6.17	[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ.....	122
6.18	[ライセンスキーの修復]ダイアログ.....	123
6.19	[コンピュータの接続]ダイアログ.....	124
6.20	[固定サイトライセンスキーの転送]ダイアログ.....	125
6.21	[復元ウィザード]のダイアログ.....	125
6.21.1	復元ウィザード、ライセンスキーの選択.....	125
6.21.2	復元ウィザード、リペアコードの入力.....	126
6.21.3	復元ウィザード、結果.....	127
6.22	オフライン転送のダイアログ.....	128
6.22.1	[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ.....	128
6.22.2	オフライン転送、開始コードの生成.....	129
6.22.3	オフライン転送、要求コードの生成.....	130
6.22.4	オフライン転送:アクティベーションコードの生成.....	131
6.22.5	オフライン転送:ライセンスキーの有効化.....	133
6.22.6	オフライン転送、ライセンスキーの削除.....	134
6.22.7	オフライン転送、アクティベーションコードの表示.....	135
6.22.8	オフライン転送、不正なアクティベーションコード.....	135
6.22.9	オフライン転送、ライセンスキーのアクティベーションの結果.....	136
6.22.10	オフライン転送、アクティベーションコードの計算.....	136
6.22.11	オフライン転送、データのロード.....	136
	用語集.....	137
	索引.....	141

## 製品概要

### 1.1 Automation License Manager の紹介

#### 概要

Automation License Manager は、Siemens AG Industry Sector の製品です。この製品は、ライセンスキーの管理(ライセンスの技術的な導入)に使用されます。

ライセンスキーの必要な製品は、自動的に **Automation License Manager** にこの要求を報告します。そのソフトウェアに有効なライセンスキーが **Automation License Manager** に検出されると、エンドユーザープログラム使用許諾契約書に従ってそのソフトウェアを使用することができます。

#### 使用される用語の定義

次の表は、**Automation License Manager** で使用される重要な用語の説明です。

用語(フルスペル)	製品名
ソフトウェア	ハードウェアにインストールされて、データの処理に使用される製品。
ハードウェア	ソフトウェアを実行するコンピュータ(PC)、デバイスまたはモジュール。
ライセンス	ライセンスは、製品を使用する法的な権利を提供します。 この権利は、以下の方法で証明されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● CoL (Certificate of License=ライセンスの認定書)および</li> <li>● ライセンスキー</li> </ul>
CoL (Certificate of License=ライセンスの認定書)	CoL はライセンスの証拠となるものです。製品を使用できるのはライセンスの所有者または認定されたユーザーのみです。
ライセンスキー	ライセンスキーは、「テクニカルな形態」のライセンスです(「電子ライセンススタンプ」)。

## 1.2 ファンクションの概要

### ライセンスキーの格納場所

ライセンスキーは、ライセンスキーデータメディア(承認用の承認フロッピーディスク)、リムーバブルドライブ(CD、CDRW は除く)、USB メモリスティックなどの記憶媒体に格納することができます。

ライセンスキーの格納場所は、ローカルのコンピュータ上でも、接続されたコンピュータ上でも構いません。

## 1.2 ファンクションの概要

### Automation License Manager の機能

Automation License Manager では、以下の機能を実行できます。

機能	製品名
ライセンスキーの管理	ライセンスキーの管理に必要なあらゆる機能
ライセンスキーの転送	保存先(コンピュータ、USB メモリスティック、フォルダなど)の間のライセンスキーの移動
ライセンスキーの表示	ライセンスキーの詳細情報(有効性、ステータスなど)を表示します。
ライセンスキーの格納	ライセンスキーをローカルのコンピュータ、または接続されたコンピュータに格納します。
ライセンスキーの確認	ライセンスキーのステータス(OK、使用済みなど)を確認します。
必要なライセンスキーの判別と表示	既存のライセンスキーと必要なライセンスキーを比較します。
ライセンスキーのチェックアウト	接続されているコンピュータで使用するために、ライセンスキーがサーバーから一時的に転送されます。
ライセンスキーのチェック	接続されているコンピュータからサーバーにライセンスキーが戻されます。
ライセンスキーを含む操作のロギング	ライセンスキー固有のアクションをコンピュータ上でロギングします。



## 1.3 Automation License Manager のライセンス

機能	製品名
ライセンスキーへの外部からのアクセスをブロックします。	SIMATIC Logon を使用できないときは外部からのアクセスをブロックします。
ライセンスキーのアクセス保護サポート	コンピュータで SIMATIC Logon がインストールされている場合、Automation License Manager を使用して、ライセンスキーのアクセス保護を有効にできます。(備考参照)

## ライセンスキーに対するアクセス保護

ライセンスキーのアクセス保護サポートには、決められた条件が必要です。次の箇所に追加情報が記載されています: SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)

## オンラインヘルプを開く

Automation License Manager のオンラインヘルプは、ライセンスキーの機能および取り扱いについて必要なすべての情報を提供します。

Automation License Manager 開始後、以下からオンラインヘルプを開くことができます。

- F1 ボタン、または
- メニューコマンド[ヘルプ|Automation License Manager についてのヘルプ]。

## 1.3 Automation License Manager のライセンス

## 標準ライセンスタイプの概要

Automation License Manager では、下記のリストに示す標準ライセンスタイプが用意されています。

## 1.3 Automation License Manager のライセンス

標準ライセンスタイプ	製品名
Single	このライセンスによるソフトウェアの使用は、任意のコンピュータ上で許可されます。使用のタイプはライセンスの認定書によって定義されます。
Floating	このライセンスによるソフトウェアの使用には、同時使用に対する使用権限が含まれています。このソフトウェアは複数回インストールできます。
Master	このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。
Upgrade	<p>アップグレードを使用する前に、システムステータスが一定の必要条件を満たす必要がある場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Upgrade</b> ライセンスを使用すると、古いバージョンのライセンスを新しいバージョンのライセンスに変換することができます。</li> <li>• たとえば、コンフィグレーション制限を拡大する必要がある場合、アップグレードが必要になります。</li> </ul>

## ライセンスタイプの概要

Automation License Manager では、下記のリストに示す標準ライセンスタイプが用意されています。

ライセンスの種類	製品名
Unlimited	このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。
Count relevant	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用許諾契約書で指定されたタグ数。</li> </ul>
Countable Objects	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用許諾契約書で指定されたオブジェクト数。</li> </ul>

## 1.3 Automation License Manager のライセンス

ライセンスの種類	製品名
Rental	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用許諾契約書で指定された操作時間数。</li> <li>● 使用許諾契約書で指定された使用開始からの日数。</li> <li>● 使用許諾契約書で指定された有効期限。</li> </ul> <p><b>注記:</b> Rental ライセンスの残り時間については、タスクバーの情報領域で簡単な情報を参照することができます。</p>
Trial	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● たとえば、最大 14 日の有効期間。</li> <li>● 使用開始から一定の日数。</li> <li>● テストと検証のための使用(保証の免責事項)。</li> </ul>
Demo	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用許諾契約書で指定された操作時間数。</li> <li>● 使用許諾契約書で指定された使用開始からの日数。</li> <li>● 使用許諾契約書で指定された有効期限。</li> </ul> <p><b>注記:</b> Demo ライセンスの残り時間については、タスクバーの情報領域で簡単な情報を参照することができます。</p>

## 不足しているライセンスキー

ソフトウェアにより必要であるが、ネットワーク上で「有効」な形で使用できないライセンスキーは、不足しているライセンスキーとして知ることができます。

ネットワークに接続されたすべてのコンピュータではなく、Automation License Manager の「検索リスト」に追加されたコンピュータのみが検索されることに注意してください。

ネットワークで検索するコンピュータは、メニューコマンド[ファイル|設定|お気に入り]で設定します。

## 下記も参照

ライセンス要求の決定および同期化 (ページ 49)

Automation License Manager の設定 (ページ 25)

## 1.5 「ライセンス管理のサポート」によるワールドワイドの支援

### 1.4 提供範囲

#### 製品に含まれるインストールソフトウェア

Automation License Manager は、ライセンスキーの必要なソフトウェアのインストールメディア(CD-ROM や USB スティックなど)にあります。

#### Automation License Manager のコンポーネント

Automation License Manager の出荷形態は以下のとおりです。

コンポーネント	製品名	インストール必須	インストール可
Automation License Manager	すべての基本的なサービスを備えた Automation License Manager のユーザーインターフェースが含まれています。	×	-
プラグイン	Automation License Manager に適合する製品固有の機能が含まれています。	-	×

#### 注記

##### Automation License Manager

Automation License Manager 自体にライセンスキーは不要です。

## 1.5 「ライセンス管理のサポート」によるワールドワイドの支援

#### ライセンス管理のサポート

次のリンクから、ライセンス管理のサポートを受けることができます: ライセンス管理のサポート (<http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175>)

「技術サポート」および「ライセンス管理のサポート」のチームは、ドイツ語および英語で対応いたします。

## インストール

### 2.1 インストール要件

#### ハードウェア

Automation License Manager を使用するためのハードウェア要件は、このバージョンの出荷時の **readme** ファイルに記載されています。

#### オペレーティングシステム

Automation License Manager は、Windows プログラムです。提供された **readme** ファイルで、Automation License Manager のこのバージョンで許可されたオペレーティングシステムがわかります。

このソフトウェアは、サポートされているオペレーティングシステムの全言語のバージョンで動作可能です。

---

#### 注記

##### **readme** ファイルを開く

Automation License Manager のインストール後、[スタート|プログラム|Siemens Automation|ドキュメンテーション|Readme]の順に操作すると、**readme** ファイルを開くことができます。その後、**readme** ファイルと Automation License Manager の言語を選択します。

---

#### ソフトウェア製品およびコンポーネント用の製品固有プラグイン

製品固有プラグインのインストール時は、以下の情報に注意してください。

通知
<b>製品固有プラグインのインストール</b> Automation License Manager には、一部のソフトウェア製品とコンポーネントのライセンスキーを管理するための製品固有のプラグインが必要です。これらのプラグインは必要なときにプロジェクトにより提供され、セットアップでインストールされます。

## 2.2 Automation License Manager のインストール

### 概要

ステップバイステップでインストールプロセスを行うことができるセットアッププログラムを使用して、Automation License Manager をインストールします。この Automation License Manager 用インストールソフトウェアは、製品 CD にあります。

Automation License Manager に含まれているソフトウェアコンポーネントについては、セクション「製品の範囲」に記載されています。

### 必要条件

- インストールの開始前に、オペレーティングシステムを起動する必要があります。「インストール要件」を参照してください。
- インストールを開始する前にすべてのプログラムを終了してください。

### 手順

Automation License Manager をインストールするには、次の手順を実行します。

1. ソフトウェアが格納されているデータメディアを PG/PC に接続します。  
プログラミング装置または PC のハードディスクに本ソフトウェアが既にインストールされている場合は、外部データ記憶媒体は必要ありません。
2. 「Setup.exe」ファイルをダブルクリックして、Automation License Manager のセットアッププログラムを開始します。  
このプログラムウィザードでは、ステップバイステップでインストールプロセス全体を行うことができます。
3. インストールプログラムが表示する指示に従います。

---

#### 注記

インストール中は、前のステップに戻る、または次のステップに進むことができます。

---

4. インストール中、ダイアログボックスで質問に答え、選択を行うように求められます。希望の要件に適する設定を選択します。[Automation License Manager セットアップ]ダイアログに、インストールの終了が表示されます。
5. [終了]ボタンをクリックして、セットアッププログラムを終了します。

### 下記も参照

インストール要件 (ページ 13)

## 2.3 Automation License Manager のアンインストール

### 手順

Automation License Manager をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータのスタートメニューから[スタート|設定|コントロールパネル]を選択して、コントロールパネルを開きます。
2. 詳細ビューで[プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [Automation License Manager]エントリを選択します。
4. [削除]ボタンをクリックします。
5. [はい]をクリックして、プログラムをアンインストールすることを確認します。
6. プログラムが正常にアンインストールされた後で、[OK]をクリックします。

結果: Automation License Manager がアンインストールされます。

## 2.4 プラグインのインストール

### 製品固有プラグインのインストール

プラグインは、製品固有のセットアッププログラムを使用してインストールされます。セットアッププログラムの関連指示に従います。

---

### 注記

Automation License Manager には、一部のアプリケーションとコンポーネントのライセンスキーを管理するための製品固有のプラグインが必要です。これらのプラグインをまだ持っていない場合は、製品により提供されます。

---

## 2.5 ライセンスのアップグレード

### 異なるライセンスのアップグレード

新しいソフトウェアバージョンを使用するためにライセンスキーまたは「以前の認証」をアップグレードする場合は、以下の相違点に注意してください。

- ライセンスキーを新しいライセンスキーにアップグレードする
- ライセンスキーへの認証をアップグレードする
- 認証をより最近の認証にアップグレードする

### ライセンスのアップグレードの規則

- 「以前の」認証または「以前の」ライセンスキー、およびアップグレード自体が、アップグレードを実行するコンピュータのハードディスクに格納されている必要があることに注意してください。
- セットアップ中は、**Upgrade** ライセンスキーをインストールできないことに注意してください。

### 必要条件

ライセンスキーまたは「以前の認証」をアップグレードするには、以下の要件を満たす必要があります。

- アップグレードするソフトウェアバージョンに対する **CoL** (ライセンス証明書)、およびライセンスキーまたは「以前の認証」が格納された認証フロッピーディスクがあること。
- 目的のバージョンの **CoL**、および **Upgrade** ライセンスキーまたはアップグレード認証が格納された認証フロッピーディスクがあること。
- ライセンスキーまたは認証がローカルコンピュータで使用可能なこと。
  - アップグレードターゲットがライセンスキーの場合は、以下の保存先のいずれかから使用可能です: ライセンスキーデータメディアまたは認証ディスク、ドライブ、または **USB** メモリスティック。
  - アップグレードターゲットが認証の場合: 認証フロッピーディスクのみ。



---

2.6 「古いソフトウェアバージョン」の使用に関する注記

## ライセンスのアップグレード

ライセンスをアップグレードするには(以降、ソースまたはターゲットが認証の場合でも単にライセンスキーと呼びます)、以下のステップを実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを選択します。
2. ナビゲーションパネル内で、アップグレードするライセンスキーの場所を選択します。
3. オブジェクト領域で、アップグレードするライセンスキーを選択します。
4. [ライセンスキー|アップグレード]メニューコマンドを選択します。
  - アップグレードの可能性が 1 つしかない場合、メッセージまたはプロンプトを表示することなくアップグレードが実行されます。
  - アップグレードの可能性がいくつかある場合、[ライセンスキーのアップグレード]ダイアログが開きます。
  - 目的のアップグレードを選択して、[アップグレード]ボタンをクリックします。

---

注記**64 ビットオペレーティングシステムでの認証**

64 ビットオペレーティングシステムでは認証がサポートされていないことに注意してください。

---

## 下記も参照

「古いソフトウェアバージョン」の使用に関する注記 (ページ 17)

## 2.6 「古いソフトウェアバージョン」の使用に関する注記

## ライセンスキーでアクティベートされたソフトウェア製品

ライセンスキーを使用して実行できるソフトウェア製品は、新しいライセンスキーも使用できます。これらの製品に以下が適用されます。

- ライセンスキーの「新しい」バージョンは、常に他のバージョンのソフトウェアを操作するために使用することができます。
- 「以前の」バージョンを使用するために、ライセンスキーをダウングレードする必要はありません。

## 2.7 ハードディスクの最適化に関する注記

---

### 注記

#### ライセンスキーの認識方法

Automation License Manager の[管理]ビューにあるライセンスキーは 20 桁のライセンス番号で認識することができます。

---

### 「古い認証」で有効となるソフトウェア製品

承認でアクティベートされるソフトウェア製品には承認が必要です。これらのソフトウェア製品は、ライセンスキーを使用して操作することはできません。それ以降のバージョンに対するライセンスキーは、ライセンスキーを使用するソフトウェア製品に対してのみ使用できます。

「以前の承認」のアップグレードに関しては、Automation License Manager のオンラインヘルプにある「ライセンスのアップグレード」に記載されています。

---

### 注記

#### 承認の認識方法

Automation License Manager の[管理]ビューにある承認は 10 桁のライセンス番号で認識することができます。

---

### 下記も参照

ライセンスのアップグレード (ページ 16)

## 2.7 ハードディスクの最適化に関する注記

### ハードディスクの最適化

ライセンスキーが転送されると、一部のユーティリティで「不良」のラベルを付けられたドライブ(データメディアまたはハードディスク)上にクラスタが作成されます。

**⚠ 注意****ハードディスク上の「不良」クラスタ**

「不良」と識別されたクラスタを復元しようとししないでください。 これらを復元すると、ライセンスキーが壊れます。

**ハードディスクの最適化のルール**

- 固定ブロックを移動することのできる最適化プログラムを使用する場合、オプションを使用する前に、ライセンスキーをハードディスクからライセンスキーデータメディア(以前のプログラムの場合は承認フロッピーディスク)へ転送する必要があります。
- ハードディスクのバックアップがライセンスキーのコピーを含んでいる場合、バックアップによってディスクを復元すると、現在有効なライセンスキーを上書きして破損する恐れがあります。 このようにしてライセンスキーが破損することを防ぐために、バックアップを作成する前にライセンスキーをすべて削除するか、ライセンスキーをバックアップから除外することを強くお勧めします。
- ハードディスクをフォーマット、圧縮、復元する、または新しいオペレーティングシステムをインストールする前に、ライセンスキーを削除することを忘れないでください。

**⚠ 注意****デフラグプログラム**

ライセンスキーの保存に使われるファイルが固定ブロックを移動するデフラグプログラムによって破壊される場合があります。

推奨: デフラグプログラムを使用する前にプロシージャからライセンスキーを除外してください。

**最適化からライセンスキーを除外する**

ハードディスクを最適化する場合、最適化から特定のライセンスキーまたは承認を除外することができます。

- 最適化の前に、すべてのライセンスキーを対応するライセンスキーデータメディアに転送します。
- 最適化の前に、すべての承認を対応する承認フロッピーディスクに転送します。

## 2.7 ハードディスクの最適化に関する注記

## Automation License Manager での作業

### 3.1 ユーザーインターフェース

#### 3.1.1 Automation License Manager のユーザーインターフェース

##### 概要

Automation License Manager のユーザーインターフェースは、以下の構造をしています。



##### タイトルバー:

ウィンドウタイトル「Automation License Manager」と、ウィンドウをコントロールするためのアイコンが含まれています。

##### メニューバー:

Automation License Manager で使用可能なすべてのメニューが含まれています。

##### ツールバー:

頻繁に使用するコマンドを素早く実行するためのアイコンと、現在選択されているビュー(ここでは[ライセンスキー])が含まれています。

##### 作業領域:

左側にナビゲーションパネル(上記の白色で示されている領域)と、右側にそれに関連したオブジェクト領域が含まれています。

## 3.1 ユーザーインターフェース

## ステータスバー:

アプリケーションの下端に位置し、ステータス情報を表示するための 7 つのボックスが含まれています。

表示される情報は、現在選択されているビューおよびナビゲーションパネルで選択されているオブジェクトに依存します。

## ナビゲーションパネル

左側のナビゲーションパネルには、以下のオブジェクトが表示されます。

View	ナビゲーションパネルのオブジェクト
[管理]	ここには、マイコンピュータ、接続されているコンピュータ、Automation License Manager で構成されているフォルダ、およびライセンスキーフォルダなどのユーザーが管理できるオブジェクトが表示されます。
[検索]	検索オプションである 検索語、製品、保存先、標準ライセンスタイプ、ライセンスタイプ、ステータス、使用先を選択できます。
[ログ]	対応するコンピュータ、各種フィルタ基準を選択できます。

## オブジェクト領域

右側のオブジェクト領域には、以下の設定に従って個々のオブジェクトが表示されます。

- Automation License Manager 内のビューセット
- ナビゲーションパネルで選択したオブジェクト

オブジェクト領域は、次の領域で構成されます。

領域	製品名
ヘッダー	タイトルによって、ユーザーは現在のビューの内容が一目で分かります。さらに、大きいアイコンによって、関連するフォルダをすばやく識別することができます。
データ領域	データ領域には、ナビゲーションパネルで選択したフォルダ内のすべての要素が表示されます。

---

**注記****オブジェクトが存在しません**

オブジェクト領域に表示するオブジェクトがない場合、この状態に対するメッセージがオブジェクトの代わりに表示されます。

---

### 3.1.2 オブジェクト領域のテーブル列

#### 概要

Automation License Manager を開くと、左側にナビゲーションパネル、右側にそれに関連したオブジェクト領域が表示されます。表示されるオブジェクトに応じて、以下に対応する情報が記載された列が表示されます。

- ライセンスキーまたは
- ソフトウェア

[ライセンスキー]ビューには、右側のオブジェクト領域にある以下の関連するデータと一緒に、選択したドライブ上の使用可能なライセンスキーが表示されます。

列	製品名
ステータス	「OK」、「不良」、「使用済み」などのステータス情報を表示します。 関連項目: Automation License Manager のステータスアイコン (ページ 28)
ファミリー	「SIMATIC STEP 7」などの関連するファミリーを表示します。
製品	「STEP 7」などの関連する製品を表示します。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン識別子、たとえば「5.4」を表示します。
ライセンスキーの数	使用可能なライセンスキーの数を表示します。
製品コード	オプション
標準ライセンスタイプ	Single、Floating、Master、Upgrade などのライセンスの標準タイプを表示します。

## 3.1 ユーザーインターフェース

列	製品名
ライセンスタイプ	<p>以下のライセンスが使用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無制限</li> <li>● Count relevant (タグ)</li> <li>● Countable objects</li> <li>● Rental (時間制限、日数制限、期限日付き)</li> <li>● Trial (期間限定)</li> <li>● Demo (時間制限、日数制限、期限日付き)</li> <li>● PowerPack (パワーパック)</li> </ul>
Validity	<p>有効期限で以下のオプションが使用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 無制限: 無制限</li> <li>● Count relevant: 変数またはタグの数</li> <li>● Countable objects: アプリケーション固有のオブジェクトをカウントします。 予約されたカウンタの読み取りは、コンピュータの再起動後に保持されます。</li> <li>● Rental: 残存期間 + ユニット/日付</li> <li>● Trial: 残りの期間(ランタイムの合計時間)</li> <li>● Demo: 残存期間 + ユニット/日付</li> <li>● Master: 契約で規定のとおり</li> <li>● Upgrade: 契約で規定のとおり</li> <li>● PowerPack: 契約で規定のとおり</li> </ul>
ライセンス番号	ソフトウェアライセンスのシリアル番号 (10 桁 = 認証; 20 桁 = ライセンスキー)
オプションの列:	
製造元	Siemens AG など
コンピュータ	ライセンスキーが格納されているコンピュータの名前。
ライセンスキー	ライセンスキーの名前。
保存先	保存先: マイコンピュータ(ローカル)または接続されたコンピュータ
最後に使用した日	現在、ファンクションなし
ユーザー	ライセンスキーのユーザー
使用されるコンピュータ	ライセンスキーを使用しているコンピュータ。



列	製品名
ハードウェアのシリアル番号	ハードウェアのシリアル番号を表示します。
ソフトウェアの量	オプション

### 3.1.3 Automation License Manager の設定

#### [設定]ダイアログを開く

次の手順を実行します。

1. メニューコマンド[ファイル|設定]を選択します。  
[設定]ダイアログが開きます。
2. 必要とする設定を入力します。
3. [OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。

## 3.1 ユーザーインターフェース

[設定]ダイアログで以下の設定が可能です。

設定機能	設定場所:	設定内容:
アクセス保護	[全般]タブ	<p>アクセス保護を有効にする場合は、特定の条件を満たす必要があります。</p> <p>関連項目 <b>SIMATIC Logon</b> のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)</p>
リモートアクセスのブロック	[全般]タブ	<p>防ぎたい操作に応じて、以下のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続されたコンピュータがライセンスキーを使用しないようにしたい場合は、[ライセンスキーのリモート使用を禁止する]チェックボックスを選択します。</li> <li>● ローカルコンピュータからライセンスキーが移されないようにしたい場合は、[ローカルコンピュータからのライセンスキーの転送を禁止する]チェックボックスを選択します。</li> <li>● ローカルコンピュータ上にライセンスキーが追加されないようにしたい場合は、[ローカルコンピュータへのライセンスキーの転送を禁止する]チェックボックスを選択します。</li> </ul> <p>すべてのボックスを組み合わせることができます。</p> <p><b>SIMATIC Logon</b> がインストールされており、[SIMATIC Logon とアクセス保護を有効にする]チェックボックスが選択されている場合は、このチェックボックスは無効になります。</p> <p>下記を参照してください。[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)</p>
言語	[全般]タブ	<p>ドロップダウンリストで、使用可能な言語を 1 つ選択します。</p> <p>関連項目 [設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)</p>
検索順序	[お気に入り]タブ	<p>[お気に入り]タブの左にある[既知のコンピュータ]のリストに、過去にどこかのポイントでこのローカル <b>Automation License Manager</b> に接続されていたコンピュータが表示されます。</p> <p>ライセンスキーは、右側の[検索リスト]に含まれるコンピュータにのみ割り当てられます。検索順序は、上から下です。Floating ライセンスキーを検索したいコンピュータを選択し、それらをリストの一番上に移動します。</p> <p>関連項目 [設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)</p>
他のコンピュータへの接続	[接続]タブ	<p>このタブでは、必要な接続設定を定義します。</p> <p>他のコンピュータに接続できるようにするには、ファイアウォール設定を調整する必要があることを忘れないでください。</p> <p>関連項目 [設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)</p>

設定機能	設定場所:	設定内容:
ユーザー定義設定	[リセット]タブ	このタブでは、ユーザーが定義した設定をリセットまたは削除することができます。 下記を参照してください。[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)
アップグレードのチェックとライセンスキーのチェックアウト	[ライセンスキー]タブ	このタブで以下を有効にします: <ul style="list-style-type: none"> <li>● アップグレードチェック</li> <li>● ライセンスキーのチェックアウトのための転送モード</li> </ul> 注記: [アップグレード]オプションを選択すると、既に存在する未使用の <b>Upgrade</b> ライセンスキーをプログラムの起動時にチェックします。 [チェックアウト]オプションを選択すると、接続されているコンピュータに転送するライセンスキーが、チェックアウトとしてログに記録されます。チェックアウトされたライセンスキーは、接続されているコンピュータで 사용할 ことができ、サーバーとして動作しているコンピュータに後で戻されます。 関連項目 [設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

### 3.1.4 プログラム実行遅延時のフィードバック

#### プログラム実行遅延時のフィードバック

プログラム実行の遅れが生じる場合、本プログラムはフィードバックを行います。ここに次のルールが適用されます。

- 約 10 秒までのわずかな遅延がある場合、マウスポインタが「砂時計」の形で表示されます。
- それより長く、時間が予測できない遅延の場合、プロセスが実行中であることがアニメーションで表示されます。

#### 現在の処理に関する情報

アニメーションが表示される場合は、「ライセンスキーの転送...」のように現在の処理段階を示すメッセージも表示されます。

### 3.1 ユーザーインターフェース

#### 処理のキャンセル

ファンクションの中断が許可される場合、ダイアログに[キャンセル]ボタンが表示されます。

### 3.1.5 Automation License Manager のステータスアイコン

#### Automation License Manager のステータスアイコン

以下に、Automation License Manager のライセンスキーの既存のステータスアイコンおよびその意味を記載します。

---








#### 注記

##### 非動作アイコン

アイコンの中には、次の表の説明列で**非動作**と表記されるものがあります。このようなアイコンが付いたライセンスキーは使用できません。これは、オフライン転送が不完全で、アクティベーションコードがまだ受信されていないことが原因である可能性があります。

---

#### ライセンスキーのステータスアイコンの意味

アイコン	意味
	ライセンスキーのステータスが不明
	ライセンスキー OK
	照会時にライセンスキーが使用中
	ライセンスキーが不正 (ホットラインからのサポートにより回復する)
	非動作 - ライセンスキーのステータスが不明
	非動作 - ライセンスキーは使用可能だが有効ではない
	非動作 - ライセンスキーが破損(ホットラインからのサポートにより回復する)

アイコン	意味
	期間限定ライセンスキーの正規有効期間が期限切れ
	期間限定ライセンスキーの追加の猶予使用期間
	照会の時点で使用されていた期間限定ライセンスキーの、追加の猶予利用期間
	期間限定ライセンスキーの正規有効期間および追加の猶予使用期間が完全に期限切れ
	ライセンスキーカウンタが上限に達しており、デクリメント不能
	ライセンスキーを転送できません。

### インストールされたソフトウェアのステータスアイコンの意味



アイコン	意味
	コンピュータ上のソフトウェアに対する基本アイコン
	ライセンスキーが有効なソフトウェアが存在する
	ソフトウェアの使用にライセンスキーを必要としない
	ソフトウェアがコンピュータ上に存在する>ライセンスキーが既に使用されている
	ソフトウェアがコンピュータ上に存在する>有効なライセンスキーがない
	ソフトウェアがコンピュータ上に存在する>ライセンスキーが存在するが破損している

### [ログ]ビューのステータスアイコンの意味

アイコン	意味
	情報を意味します。
	警告を意味します。
	エラーを意味します。

## 3.1 ユーザーインターフェース

## フォルダの意味

アイコン	意味
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表示します。
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表示します。

## 3.1.6 ツールバーのアイコン

## 概要

[ビュー|ツールバー]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager のツールバーの表示を有効または無効にします。以下の図は、Automation License Manager の標準ビュー[ライセンスキー]のツールバーです。



## 注記

## ツールバーの表示










押された状態で表示されているボタンは、特定のステータスが有効であることを示します(ここでは、たとえば[管理]ビュー)。

背景が暗い灰色のアイコンには、以下の意味があります。

- このアイコンが示すファンクションが有効ではない。
- このアイコンが示すファンクションが使用できない。

ツールバーには、以下のアイコンが用意されています。

アイコン	メニューコマンド	キーボードショートカット	製品名
	[ファイル エクスポート]	CTRL+S	オブジェクト領域に表示された情報をエクスポートします
	[ファイル 印刷]	CTRL+P	オブジェクト領域に表示された情報を印刷します
	[ファイル 印刷プレビュー]		現在のオブジェクト領域の印刷プレビューを表示します。

アイコン	メニューコマンド	キーボードショートカット	製品名
	[編集 切り取り]	Ctrl + X	オブジェクト領域で選択したライセンスキーをクリップボードに移動します。 注記: 必ず[貼り付け]と一緒に使用します。
	[編集 貼り付け]	CTRL + V	クリップボードに格納されたライセンスキーを挿入します 注記: 必ず[切り取り]と一緒に使用します。
	[編集 削除]	DEL	オブジェクト領域で選択したオブジェクトを削除します。
	[ビュー 管理]		ライセンス管理のすべての管理タスクが使用可能です。 [管理]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 検索]		検索画面および結果を表示します。このビューは、特殊な照会の定義に使用します。 [検索]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー ログ]		記録されたログを表示します。 [ログ]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 定義する...]		[管理]ビューの内容および外観を定義します。
	[ビュー 更新]	F5	オブジェクト領域に表示された情報を更新します。
	[ヘルプ 状況に応じたヘルプ]	F1	選択したオブジェクトまたはメニューコマンドの状況に応じたヘルプを呼び出します。

### 3.1.7 キーボードショートカット

#### 使用可能なキーボードショートカットの概要

以下に記載されるキーボードショートカットは、マイクロソフト規格に準拠します。

ショートカットキー	影響：
F1	オンラインヘルプを呼び出す
F5	アクティブウィンドウを更新する
CTRL + A	すべて選択
CTRL+P	現在のオブジェクトビュー表示を印刷する
Ctrl + X	切り取り
CTRL + V	貼り付け
Alt + スペースバー	アクティブウィンドウのシステムメニューを開く
ALT+F4	アクティブな要素またはアクティブなプログラムを閉じる

## 3.2 Automation License Manager の表示

### 3.2.1 標準ビュー

#### 標準ビューの概要

Automation License Manager では、インストール後に以下の標準ビューを使用できます。

View	製品名
検索結果	左側の[検索]ビューに検索オプションを表示し、検索の正常終了後、右側に関連した検索結果を表示します。
ライセンスキー	[管理]ビューに、選択したドライブ上で使用可能なすべてのライセンスキーを表示します。
インストール済みのソフトウェア	選択したコンピュータにインストール済みのライセンスキーの必要なソフトウェア製品を表示します。 インストール済みのソフトウェアを表示する際に、2 番目の値が[バージョン]列に括弧で示される場合には、その括弧で示されているライセンスキーのバージョンが、インストール済みの製品バージョンに使用されています。



View	製品名
不足しているライセンスキー	ライセンスキーが不足しているインストール済みのソフトウェアを表示します。
ライセンス済みソフトウェア	選択したコンピュータ上でライセンスキーが使用可能なインストール済みのソフトウェア製品を表示します。

#### 注記

##### 標準ビューの編集

以下の事項に注意して作業を行います。 標準ビューはコピーのみ可能です。変更や削除はできません。

### 3.2.2 [管理]、[検索]、および[ログ]ビューの概要

#### Automation License Manager でビューを開く

[表示]管理/検索/ログ]メニューコマンドを選択することによって、Automation License Manager の各種ビューを開くことができます。

以下のビューから選択できます。

View	製品名
[管理]	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータおよびフォルダによる構造を表示する</li> <li>ライセンス管理のすべての管理タスクを実行可能にする</li> </ul>
[検索]	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索ダイアログをよび検索結果を表示する</li> </ul>
[ログ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカルおよび接続されたコンピュータを表示する</li> <li>ライセンスキーの転送に関する情報を表示する</li> <li>ログのエントリを表示する</li> <li>ライセンスキーのチェックアウトおよびチェックインに関する転送アクションを表示する</li> </ul>

### 複数ビューの操作

Automation License Manager の作業領域で一度に操作できるのは 1 つのビューのみです (Windows エクスプローラと同様)。ただし、Automation License Manager は複数回起動できます。

Automation License Manager を複数開くことにより、アプリケーション内および 2 つのウィンドウ間でライセンスキーを移動できます。

---

#### 注記

##### ユーザー固有の設定

Automation License Manager にはセッションメモリがあるため、ユーザー固有の設定が自動的に保存されます。

---

### 3.2.3 [管理]ビューでの作業

#### 概要

[管理]ビューでは、使用可能なビューを選択し有効にする、あるいは独自のビューを定義することができます。Automation License Manager とともに、[管理]ビュー用にあらかじめ定義された複数の標準ビューがインストールされます。

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. メニューバーのドロップダウンリストで現在選択されているビューが、オブジェクト領域の情報表示に使用されます。
3. [ビュー|定義]メニューコマンドを選択します。  
[ビューの定義]ダイアログが開きます。ここでは、既存のビューを使用して情報にアクセスしたり、新しいビューを定義したりすることができます。

**[定義]ビューのボタンの意味**

ボタン	意味
OK	[使用可能なビュー]リストで選択したビューがオブジェクト領域での情報の表示に使用されます。
適用	ビューは、拡張された[ビューの編集]領域で編集することができます。 [適用]をクリックすると、変更が有効になります。
キャンセル	変更を適用せずに、[ビューの定義]ダイアログを閉じます。
新規作成	新しいビューを定義します。
コピー	既存のビューをコピーします。
削除	既存のビューを削除します。

**[新規作成]、[コピー]および[削除]ボタン**

[新規作成]、[コピー]および[削除]ボタンは、[使用可能なビュー]リストで表示されているビュー上で動作します。

**[ビューの編集]領域**

ビューの名前は[名前]ボックスに入力されます。この名前は、ビューのオブジェクト領域のタイトル、およびツールバーのドロップダウンリストに表示されます。

ラジオボタンを使用して、表示されるフィルタリングされたビューの内容を事前を選択することができます。

- ライセンスキー – ライセンスキー情報のみを選択に使用することができます。
- ソフトウェア-ソフトウェア情報のみを選択に使用することができます。

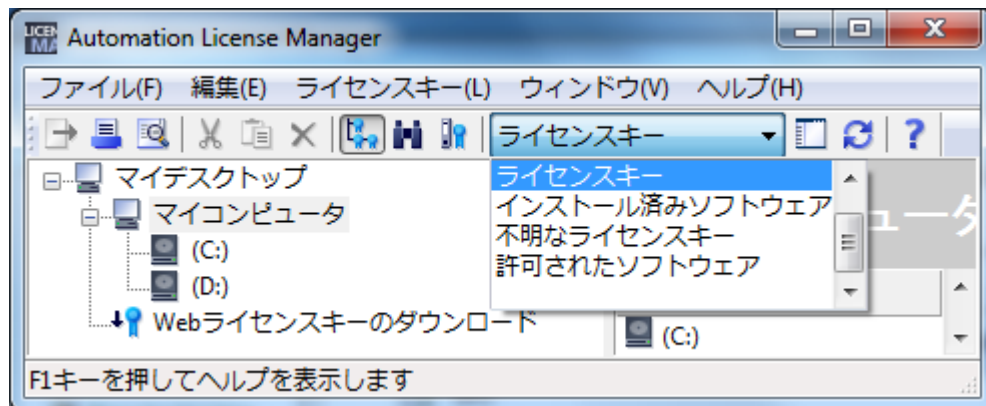
その後のタブでは、ビューの内容およびレイアウトを定義することができます:

- 列
- フィルタ
- グループ
- 並び替え

### 3.2.4 [ビュー]ドロップダウンリスト

[ビュー]ドロップダウンリストには、[管理]ビューに設定する[ビュー]が表示されます。

使用可能な標準のビューについては、セクション「標準のビュー」を参照してください。例では、標準のビュー[ライセンスキー]がアクティブになっていることが示されています。



### 3.2.5 [検索]ビューでの作業

#### 概要

Automation License Manager の[検索]ビューでは、ライセンスキーおよびインストール済みソフトウェアに関する情報を検索できます。

次の手順を実行します。

1. [ビュー|検索]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. [検索]範囲で以下の設定を行います。
  - 必要に応じて、検索語、製品、またはその両方を入力します。
  - [保存先]、[標準ライセンスタイプ]、[ライセンスタイプ]、[ステータス]、および[ユーザーにより使用中]リストから検索基準を選択します。
  - [検索]ボタンをクリックして、検索を実行します。

**結果:** 検索結果はオブジェクト領域に表示されます。

### 例：ネットワークのライセンスキーを検索する

次の手順を実行します。

1. [ビュー|検索]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. [検索]範囲で以下の設定を行います。
  - たとえば、[検索語]入力ボックスに用語「STEP 7」を入力します。
  - [保存先]ドロップダウンリストで、[すべて]を選択します。
  - [検索]ボタンをクリックします。

**結果:** 次の条件に当てはまるライセンスキーがすべて表示されます。

- 用語「STEP 7」を含む
- 使用中のコンピュータまたは接続されたコンピュータに存在する

## 3.2.6 [ログ]および[チェックアウトログ]ビューでの作業

### 概要

[ログ]ビューには、ライセンスキーのすべての操作(ソフトウェアによるライセンスキーの使用、ライセンスキーの転送、ライセンスキーのチェックアウトなど)に関する情報が提供されます。

ログを呼び出すには、次の手順を実行します。

1. [ビュー|ログ]メニューコマンドを使用してビューを開きます。
2. ドロップダウンリストで、必要なビューを選択します。[ログ]ビューまたは[チェックアウト]ビュー。
3. オブジェクト領域で、格納されたログを開きたい場所(マイコンピュータ、接続されたコンピュータ)を選択します。
4. 必要なエントリ数を選択、またはログを表示する時間を選択します。
5. システムエントリを表示させたい場合は、[システムエントリ]チェックボックスも選択します。システムエントリは、カスタマーサポートおよびテクノロジーに関連する追加エントリです。
6. フィルタを使用したい場合は、[フィルタ]チェックボックスを選択します。ドロップダウンリストから、必要なフィルタを選択します。
7. [更新]ボタンをクリックします。

**結果:** 選択したビューの選択した条件に対応するログエントリが表示されます。

---

#### 注記

##### チェックアウトログに関する注意点

未完了のライセンスキーのチェックアウトに関しては、チェックアウトログにすべてのアクションが表示されます。チェックアウトログには、サーバーからチェックアウトされていてまだ再チェックインしていないすべてのライセンスキーが表示されます。

ライセンスキーがチェックアウトされていて再チェックインした場合には、アクションが完了しているため、チェックアウトログには表示されません。

---

#### ログの印刷

次の手順を実行します。

1. ログを開きます。
2. ログを印刷するには、[ファイル|印刷]メニューコマンドを選択します。
3. 必要に応じて設定を修正し、[OK]でダイアログを確認します。  
**結果:**表示されたログのエントリが印刷されます。

#### ログの取得

次の手順を実行します。

1. ログを開きます。
2. ログを保存するには、[ファイル|エクスポート]メニューコマンドを選択します。
3. ドライブおよび記憶装置のパスを入力します。  
**結果:** 表示されたログのエントリが、指定したパスに CSV フォーマットで格納されます。

#### [ログの削除]

次の手順を実行します。

1. ログのすべてのエントリを削除するには、[編集|ログの削除]メニューコマンドを選択します。  
**結果:** 選択したコンピュータのログのエントリがすべて削除されます。

## 3.3 ライセンスキーの取り扱い

### 3.3.1 ライセンスキーのインストール

#### ライセンスキーのインストール

ソフトウェア製品のインストール中に、ライセンスキーをインストールできます。

一部のソフトウェアでは、プログラム自体のインストール(セットアップ)中に必要なライセンスキーをインストールできます。ライセンスキーはソフトウェアがインストール中のコンピュータにインストールされます。

---

#### 注記

##### ライセンスキーのアップグレード

セットアップ中は、**Upgrade** ライセンスキーをインストールできないことに注意してください。

---

#### 下記も参照

ライセンスキーの転送 (ページ 42)

### 3.3.2 インストール済みライセンスキーの表示

#### 手順

[ビュー|管理]メニューコマンドを使用して、すべてのインストール済みライセンスキーを一覧表示することができます。

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. ナビゲーションパネルで、インストール済みライセンスキーを確認するコンピュータ(マイコンピュータまたは接続されたコンピュータ)およびドライブを選択します。
3. [ビュー|定義]メニューコマンドを選択します。  
[ビューの定義]ダイアログが開きます。
4. [ライセンスキー]ビューを選択し、[OK]をクリックします。  
**結果:** コンピュータにインストールされたライセンスキーが表示されます。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

---

#### 注記

##### 認識されないライセンスキー

使用可能なライセンスキーが対応するコンポーネントによって認識されない場合は、以下の列を確認します。

- バージョン
  - 有効性
  - ステータス(ライセンスキーを選択し、[表示|更新]に続いて[ライセンスキー|確認]を選択します)
- 

### インストール済みライセンスキーの一覧の印刷またはエクスポート

以下の手順で、インストール済みライセンスキーの一覧を編集できます。

1. [ファイル|印刷]メニューコマンドを使用して印刷します。
2. [ファイル|エクスポート]メニューコマンド **CSV** ファイルにエクスポートします。

### 下記も参照

Automation License Manager のステータスアイコン (ページ 28)

### 3.3.3 インストール済みソフトウェアの表示

#### 手順

[ビュー|管理]メニューコマンドを選択することによって、動作にライセンスキーが必要な、すべてのインストール済みソフトウェア製品を一覧表示することができます。

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. [ビュー|定義]メニューコマンドを選択します。  
[ビューの定義]ダイアログが開きます。
3. [インストール済みのソフトウェア]ビューを選択し、[OK]をクリックします。  
**結果:** コンピュータ上にインストール済みの、ライセンスキーを使用した新しいライセンスコンセプトをサポートしている **Siemens AG** ソフトウェア製品が表示されます。



---

**注記****ライセンスキーのバージョンに関する注記**

インストール済みのソフトウェアを表示する際に、2 番目の値が[バージョン]列に括弧で表示される場合には、その括弧で示されているライセンスキーのバージョンが、インストール済みの製品バージョンに使用されていることを意味しています。

---

**インストール済みソフトウェアの一覧の印刷またはエクスポート**

以下の手順で、インストール済みソフトウェアの一覧を編集できます。

1. [ファイル|印刷]メニューコマンドを使用して印刷します。
2. [ファイル|エクスポート]メニューコマンド **CSV** ファイルにエクスポートします。

**下記も参照**

Automation License Manager のステータスアイコン (ページ 28)

**3.3.4 ライセンスキーの確認****手順**

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. オブジェクト領域で、確認するライセンスキーが保存されている保存先(マイコンピュータ、接続されているコンピュータ、ライセンスキーフォルダ)を選択します。
3. 確認するライセンスキーを選択します。
4. [ライセンスキー|確認]メニューコマンドを選択します。

**結果:** 選択したライセンスキーが確認され、その結果が、ライセンスキー用ステータスアイコンを使用して表示されます。

**下記も参照**

Automation License Manager のステータスアイコン (ページ 28)

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

#### 3.3.5 ライセンスキーの転送

##### 手順

さまざまな保存先(たとえば、コンピュータ、USB メモリスティック、ライセンスキーフォルダ)の間でライセンスキーを転送するには、以下のオプションを使用することができます。

- ドラッグアンドドロップを使用する
- 切り取りと貼り付けを使用する
- [ライセンスキー|転送]メニューコマンドを使用する
- [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを使用すると、開始コード、要求コード、およびアクティベーションコードを手動で転送することができます([ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログを参照してください)。

##### ドラッグアンドドロップを使用したライセンスキーの転送

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. お使いのコンピュータまたは接続されたコンピュータ上の、削除したいライセンスキーがある保存先を開きます。
3. ライセンスキーを選択してマウスの左ボタンを押し下げながら、ライセンスキーを挿入したい保存先にそれをドラッグします。

**結果:** ライセンスキーが転送されます。

##### 切り取りと貼り付けによるライセンスキーの転送

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使用してビューを選択します。
2. お使いのコンピュータまたは接続されたコンピュータ上の、削除したいライセンスキーがある保存先を開きます。
3. 転送したいライセンスキーを選択します。
4. [編集|切り取り]メニューコマンドを選択します。
5. お使いのコンピュータまたは接続されたコンピュータ上の、ライセンスキーを挿入したい保存先を開きます。
6. メニューコマンド[編集|貼り付け]を選択します。

**結果:** ライセンスキーが転送されます。

### 「転送」コマンドを使用したライセンスキーの転送

次の手順を実行します。

1. まず、別の保存先に転送したいライセンスキーを選択します。
2. [ライセンスキー|転送]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーの転送]ダイアログを開きます。
3. 宛先ドライブが別の接続されたコンピュータ上にある場合は、ドロップダウンリストで必要な宛先ドライブを選択するか、または[ネットワーク...]ボタンをクリックします。  
[コンピュータの接続]ダイアログが開きます。
4. コンピュータ名を入力するか、ドロップダウンリストでコンピュータを選択します。
5. または、[参照]をクリックして、[コンピュータの検索]ダイアログを開きます。
  - [ネットワーク全体]をクリックし、次いで[Microsoft Windows ネットワーク]をクリックします。
  - コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
  - 次に、必要なコンピュータを選択し、[OK]をクリックして選択を確認します。選択したコンピュータにも、Automation License Manager をインストールする必要があることに注意してください。
  - [OK]をクリックして選択を確認し、各ダイアログを閉じます。

**結果:** ライセンスキーが転送されます。

### 下記も参照

[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ (ページ 114)

ネットワークの既存ライセンスキーの参照 (ページ 62)

## 3.3.6 ライセンスキーの回復

### 手順

[ライセンスキー|回復]メニューコマンドを使用して、ライセンスキーを回復するためのダイアログを開きます。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

次の手順を実行します。

1. 回復するライセンスキーを選択し、[ライセンスキー|回復]メニューコマンドを選択します。
2. 「ライセンス管理のサポート」に問い合わせ、ダイアログボックスに表示されたデータを転送します。
  - 製品名
  - ライセンスキー番号
  - ライセンス番号
  - 要求コード
3. 提供されたアクティベーションコードを入力し、[OK]をクリックします。

**結果:** 破損したライセンスキーの回復が完了し、使用できるようになります。

---

#### 注記

##### ライセンスキーの回復

承認はフロッピーディスク上でのみ、ライセンスキーはハードディスク上でしか修復できないことに注意してください。

---

#### 下記も参照

ライセンスキーの転送 (ページ 42)

[ライセンスキーの修復]ダイアログ (ページ 123)

[復元ウィザード]のダイアログ (ページ 125)

### 3.3.7 ウィザードを使用したライセンスキーの回復

#### 手順

[ライセンスキー|回復]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーの回復ウィザード]ダイアログを開きます。

[復元ウィザード]を使用して、ハードディスクの故障または異常のために使用できなくなった 1 つ以上のライセンスキーを修復することができます。 ライセンスキーを回復するには、A&D カスタマーサポートからの支援が必要です。

このウィザードでは、ステップバイステップでプロセス全体を実行することができます。以下のダイアログが呼び出されます。

- 復元ウィザード: ライセンスキーを選択します
- 復元ウィザード: リペアコードの入力
- 復元ウィザード: 結果

#### 下記も参照

復元ウィザード、ライセンスキーの選択 (ページ 125)

復元ウィザード、リペアコードの入力 (ページ 126)



復元ウィザード、結果 (ページ 127)

### 3.3.8 フォルダ内のキーの管理

#### ライセンスキーの格納および管理

バージョン V5.2 以降の Automation License Manager では、ライセンスキーを管理するための特別なライセンスキーフォルダを作成できます。

Automation License Manager のフォルダは、以下のアイコンによって識別されます。

アイコン	製品名
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表示します。
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表示します。

#### ライセンスキーフォルダを使用した操作

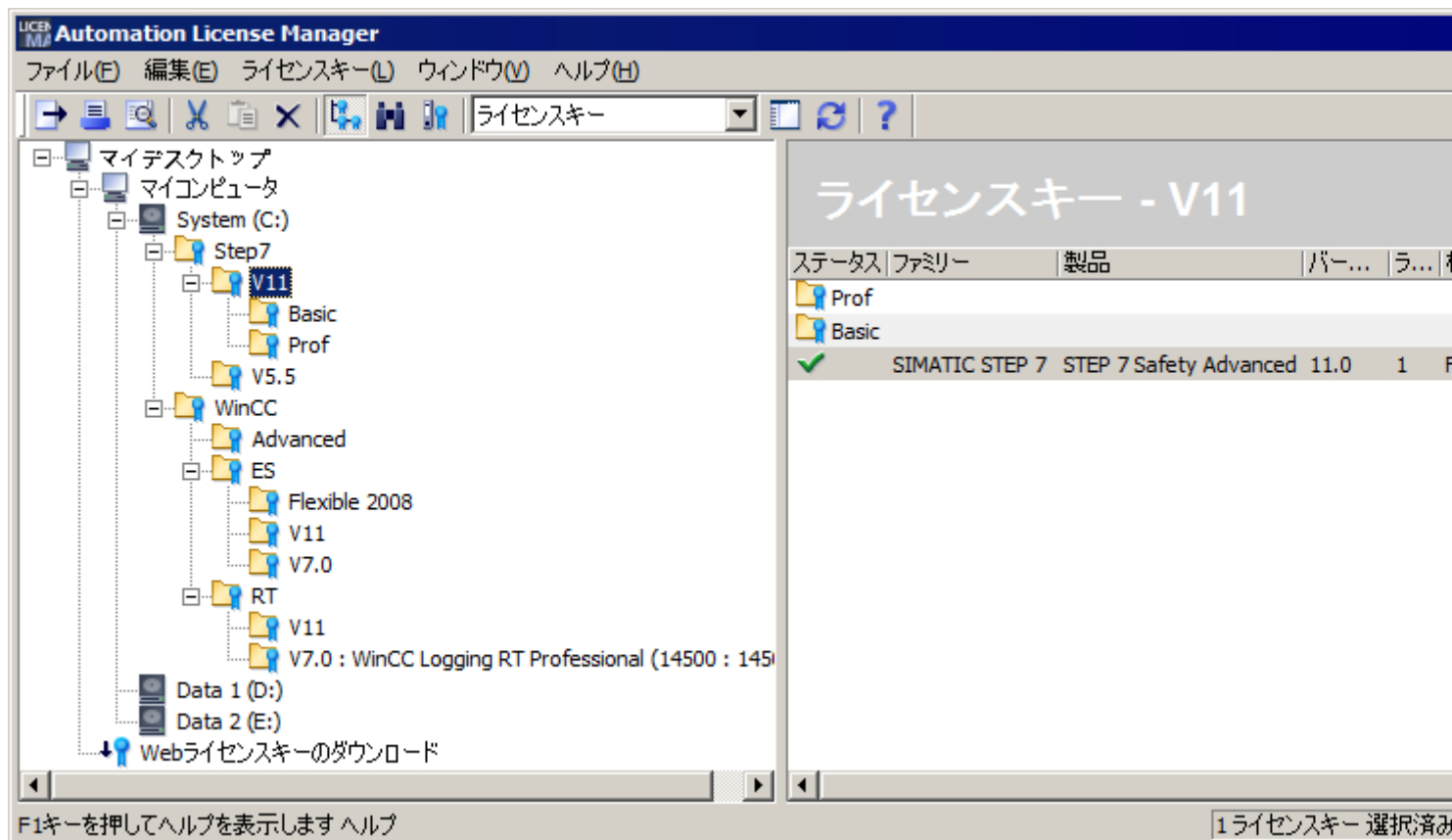
ライセンスキーフォルダは通常のフォルダ同様、ドラッグアンドドロップ、切り取り、貼り付け、名前の変更で移動することができます。

空のライセンスフォルダも削除できます。ただし、この操作はフォルダにライセンスキーが含まれている場合は実行できません。

## 3.3 ライセンスキーの取り扱い

## ライセンスキーフォルダ内のライセンスキーの保存

ライセンスキーフォルダを作成することで、階層的に構造化された製品およびバージョンに固有なライセンスキーを保存することができます。これにより、以下の例に示すように、既存のライセンスキーがより管理しやすくなります。

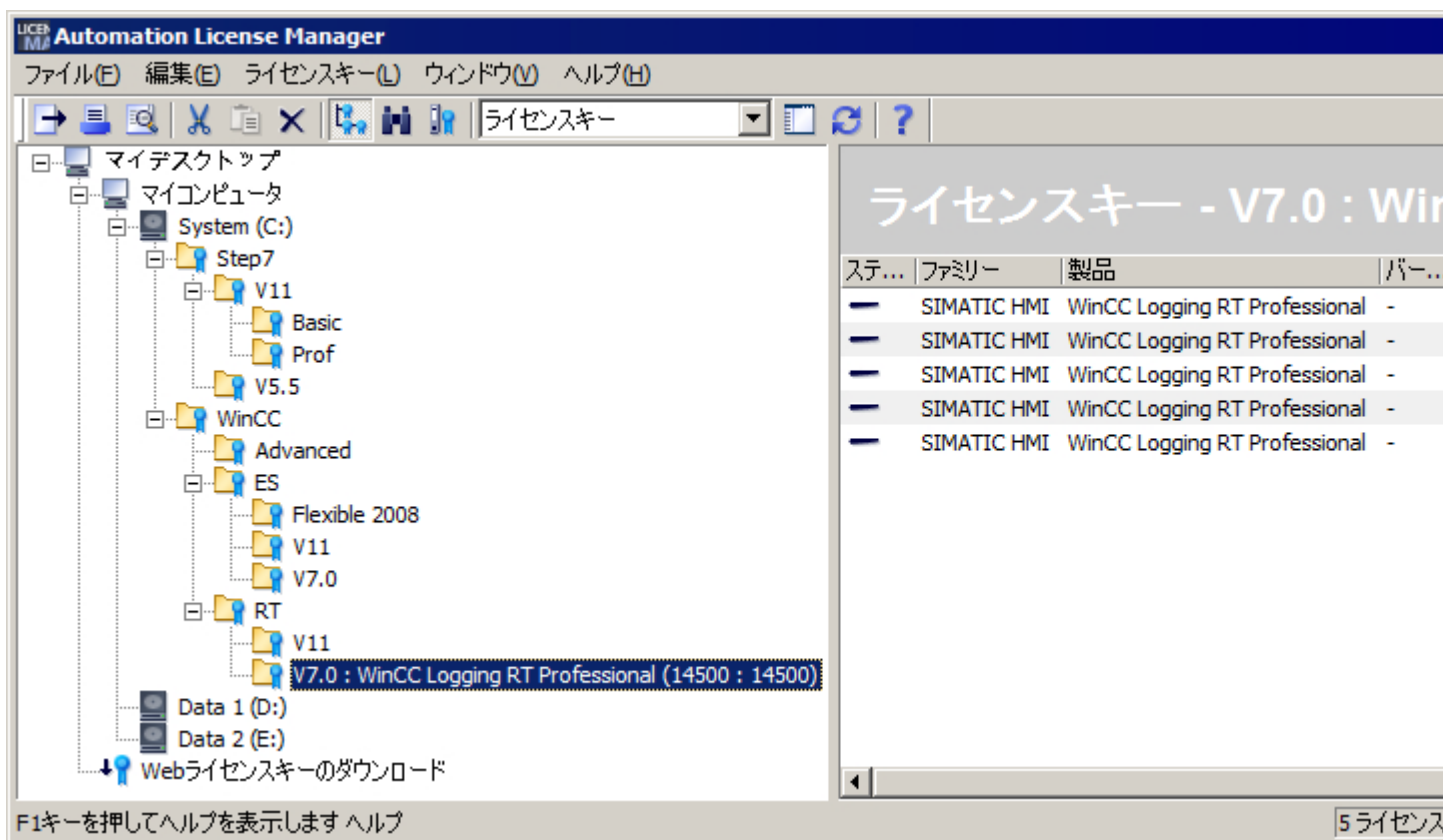


上図に示すように、ユーザーはフォルダ階層なしでライセンスキーを保存することもできます。ただし、ライセンスキーフォルダが存在する場合は、そのフォルダが先に表示され、その後に個々のライセンスキーが表示されます。

## ライセンスの有効期限の表示

ライセンスキーフォルダのさらなる利点は、「Count relevant」または「Countable objects」のタイプのライセンスキーを使用している場合に、使用可能なタグ(変数またはアプリケーション固有のオブジェクト)の合計数が、フォルダ名の後の括弧内に表示されることです。以下の例に示すように、開いたフォルダには有効期限が異なる複数のライセンスキーが含まれており、そのフォルダ名の後の括弧に合計数として表示されます。

最初の数字はまだ使用可能なタグの数を示し、コロンの後の 2 番目の数字は使用可能なタグの合計数を示します。



## 注記

### ライセンスキーフォルダの削除

ライセンスキーフォルダは、ライセンスキーを含んでいる場合は削除できないことに注意してください。ライセンスキーフォルダは、空のときにのみ削除できます。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

下記も参照

フォルダの作成 (ページ 48)



#### 3.3.9 フォルダの作成

##### 構造化された保存先でのフォルダの使用

既存のコンピュータ接続およびライセンスキーを構造化して保存するために、フォルダを作成できます。コンピュータ接続は一般的なフォルダに保存されます。追加のアイコンで示されるライセンスキーとこれらのフォルダを保存するには、特別なライセンスフォルダが必要です。

新規フォルダの作成の条件:

新規フォルダが一般的なフォルダになるか、またはライセンスキーフォルダになるかは、作成される場所によって異なります。

アイコン	製品名
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表示します。 このようなフォルダを作成する前に、ナビゲーションパネルに移動し、以下を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● マイデスクトップ</li></ul>
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表示します。 このようなフォルダを作成する前に、ナビゲーションパネルに移動し、以下のオブジェクトのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ローカルデータメディア</li><li>● 既に存在しているライセンスキーフォルダ</li></ul>

##### フォルダの作成

次の手順を実行します。

1. [管理]ビューを選択します。
2. メニューバーにあるドロップダウンリストで、[ライセンスキー]表示を選択します。
3. 上の表に記載されているように、ナビゲーションパネルで必要なオブジェクトを選択します。



4. 一般的なフォルダを作成するには、[マイデスクトップ]を選択します。
5. ライセンスキーフォルダを作成するには、[ローカルデータメディア]または既存のライセンスキーフォルダを選択します。
6. ショートカットメニューまたはメニューを使用して、[編集]新規フォルダ]コマンドを選択します。
7. [新規フォルダの挿入]ダイアログで、新規フォルダの名前を入力します。
8. [OK]をクリックして確認します。  
**結果:** ユーザーが割り当てた名前が、新規フォルダがナビゲーションパネルに表示されます。

---

#### 注記

##### ライセンスキーフォルダの削除

ライセンスキーフォルダは、ライセンスキーを含んでいる場合は削除できないことに注意してください。ライセンスキーフォルダは、空のときにのみ削除できます。

---

#### 下記も参照

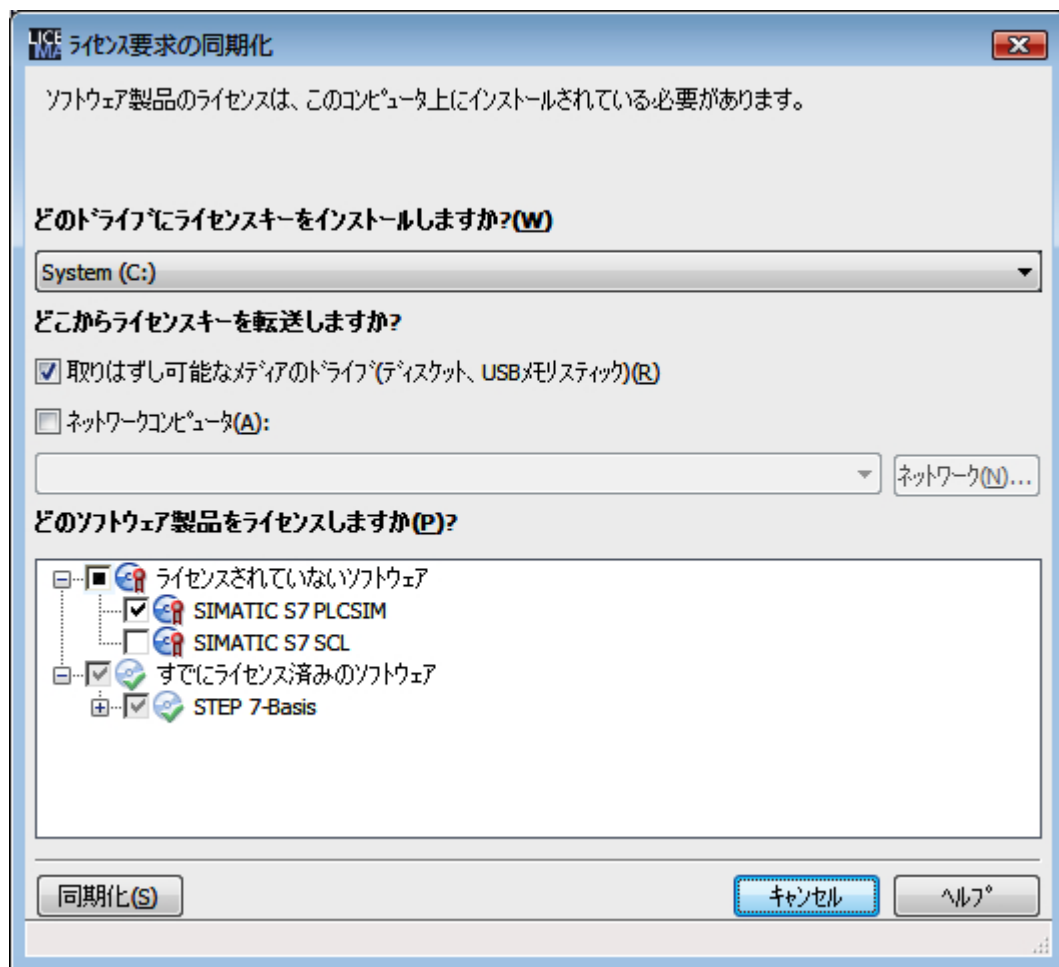
フォルダ内のキーの管理 (ページ 45)

### 3.3.10 ライセンス要求の決定および同期化

#### 概要

ライセンスキーが使用可能であれば、[ライセンス要求の同期化]ダイアログボックスを使用して、ライセンスキーがまだないお使いのコンピュータ上のソフトウェア製品にライセンスを与えることができます。

## 3.3 ライセンスキーの取り扱い



次の手順を実行します。

1. [ビュー|定義]メニューコマンドを使用して、事前定義されたビュー[インストール済みソフトウェア]、[不足しているライセンスキー]、または[許可されたソフトウェア]のいずれかを選択します。
2. [ライセンスキー|ライセンス要求の同期化]メニューコマンドを選択します。  
結果: [ライセンス要求の同期化]ダイアログが開きます。
3. ドロップダウンリストから、ライセンスキーをインストールするドライブを選択します。
4. 転送するライセンスキーの転送元のオプションを選択します。[ネットワーク]ボタンを使用すると、ネットワーク内の任意のコンピュータに移動することができます。
5. [ライセンス供与するソフトウェア製品]ボックスに、お使いのコンピュータ上の有効なライセンスがないソフトウェア製品が表示されます。既にライセンスがあるソフトウェアは、表示されますが選択することができません。[+]をクリックすると、特定のソフトウェアに対してどのライセンスキーが使用可能かが表示されます。
6. 表示されているソフトウェア製品の中からライセンスを与えるものを選択し、[OK]をクリックします。ライセンスを与えるソフトウェア製品が選択されると、[OK]ボタンが有効になります。

---

**注記****ライセンス供与不可**

指定された転送元コンピュータに有効なライセンスキーが含まれていないなどの理由で、選択済みのソフトウェアパッケージがライセンスを受けられない場合は、メッセージを受け取ります。そしてこのダイアログが再度表示されます。

---

### 3.3.11 ライセンスキーのオフライン転送の概要

#### 概要

[ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを使用して、ライセンスキーのオフライン転送のダイアログを開きます。

---

**注記****オフライン転送の条件**

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

---

#### オフライン転送の手順の概要

ウィザードを使用して転送を実行します。実行するオフライン転送を選択し、[次へ]をクリックします。

この場合、以下のどれかを選択します。

- 開始コードの生成
- 要求コードの生成
- アクティベーションコードの生成
- ライセンスキーの有効化

オフライン転送のウィザードでは、ステップバイステップで転送を行うことができます。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

#### 下記も参照

オフライン転送 - 開始コードの生成 (ページ 52)

オフライン転送 - 要求コードを生成する (ページ 53)

オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する (ページ 55)

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化 (ページ 56)

### 3.3.12 オフライン転送 - 開始コードの生成

#### 開始コードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

---

#### 注記

##### オフライン転送の条件

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

---

#### 手順

次の手順を実行します。

1. ナビゲーションパネルで、必要なライセンスキーがあるドライブを選択します。
2. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
3. [開始コードの生成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが開きます。リストには、使用可能なライセンスキーの開始コードがすべて含まれています。
4. 転送したいライセンスキーをテーブルから選択し、[保存]ボタンをクリックします。
5. 開始コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]ボタンをクリックします。

7. 開始コードを転送先コンピュータに転送します。 例:
  - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - 開始コードを電話で連絡
  - プリントアウトを **FAX** で送信
8. ダイアログを閉じ、要求コードを後で入力したい場合は、[キャンセル]をクリックします。

#### 下記も参照

ライセンスキーのオフライン転送の概要 (ページ 51)

オフライン転送－要求コードを生成する (ページ 53)

オフライン転送－アクティベーションコードを生成する (ページ 55)

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化 (ページ 56)

### 3.3.13 オフライン転送－要求コードを生成する

#### 要求コードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーの転送先コンピュータで、このステップを行います。

---

#### 注記

##### オフライン転送の条件

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

---

#### 手順

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [要求コードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[開始コードの入力]リストのある[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開きます。

## 3.3 ライセンスキーの取り扱い

3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式のデータ(フロッピーディスク、電子メールなど)	1. [ロード]ボタンをクリックします。 2. [開く]ダイアログで、開始コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. [開く]ボタンをクリックします。 データが[開始コードの入力]リストに入力されます。
プリントアウトや、ファックスや電話で送信するデータ	1. ダイアログテーブルにある[開始コード]列の最初の行をダブルクリックします。 2. [開始コード]列に開始コードを手動で入力します。

4. [次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開き、[ライセンスキーの選択]リストが表示されます。
5. お使いのコンピュータのドライブに転送するライセンスキーを選択します。
6. [どのドライブにライセンスキーをインストールしますか?]ドロップダウンリストで、お使いのコンピュータのドライブを選択します。
7. [次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログ開き、[要求コードの表示]リストが表示されます。
8. [保存]ボタンをクリックします。要求コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
9. [次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログが開き、[アクティベーションコードの入力]リストが表示されます。
10. 要求コードを転送元コンピュータに転送します。 例:
- ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - 要求コードを電話で連絡
  - プリントアウトを FAX で送信
11. ダイアログを閉じ、アクティベーションコードを後で入力したい場合は、[キャンセル]をクリックします。

## 下記も参照

ライセンスキーのオフライン転送の概要 (ページ 51)

オフライン転送 - 開始コードの生成 (ページ 52)

オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する (ページ 55)

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化 (ページ 56)

### 3.3.14 オフライン転送—アクティベーションコードを生成する

#### アクティベーションコードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

#### 注記

##### オフライン転送の条件

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

#### 手順

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [アクティベーションコードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが開き、[要求コードの入力]リストが表示されます。
3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式のデータ(フロッピーディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. [開く]ボタンをクリックします。 データが[要求コードの入力]リストに入力されます。</li> </ol>
プリントアウトや、ファックスや電話で送信するデータ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. ダイアログテーブルにある[要求コード]列の対応する行をダブルクリックします。</li> <li>4. 要求コードを[要求コードの入力]リストに入力します。</li> </ol>

4. [次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキーの削除]リストが開きます。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

5. [保存]ボタンをクリックします。アクティベーションコードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]ボタンをクリックします。  
[アクティベーションコードを計算する: 確認] ウィンドウが開きます。
7. [はい] をクリックして、ダイアログの設定を確認します。  
[ライセンスキー送信のウィザード]ダイアログの[ライセンスキーの削除]リストに表示されたライセンスキーが削除され、[アクティベーションコードの表示]ダイアログが開きます。
8. アクティベーションコードを転送先コンピュータに転送します。 例:
  - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - アクティベーションコードを電話で連絡
  - プリントアウトを **FAX** で送信
9. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

#### 下記も参照

ライセンスキーのオフライン転送の概要 (ページ 51)

オフライン転送 - 開始コードの生成 (ページ 52)

オフライン転送 - 要求コードを生成する (ページ 53)

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化 (ページ 56)

#### 3.3.15 オフライン転送 - ライセンスキーの有効化

##### ライセンスキーの有効化

ソフトウェア用ライセンスキーの転送先コンピュータで、この手順を実行します。

---

##### 注記

##### オフライン転送の条件

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

---



## 手順

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [ライセンスキーの有効化]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログが開き、[アクティベーションコードの入力]リストが表示されます。
3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式のデータ(フロッピーディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらのアクティベーションコードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. [開く]ボタンをクリックします。 データが[アクティベーションコードの入力]リストに入力されます。</li> </ol>
プリントアウトや、ファックスや電話で送信するデータ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらのアクティベーションコードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. ダイアログテーブルにある[アクティベーションコード]列の対応する行をダブルクリックします。</li> <li>4. アクティベーションコードを[アクティベーションコードの入力]リストに入力します。</li> </ol>

4. [次へ]ボタンをクリックします。
5. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。  
**結果:** 有効なライセンスキーが[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログの[結果]リストに表示されます。ライセンスキーは、転送元コンピュータから転送先コンピュータに転送されます。

## 注記

### 転送中のエラー

転送中にエラーが発生すると、[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開き、[間違ったアクティベーションコード]リストが表示されます。

この場合は、「ライセンス管理のサポート」に問い合わせてください。

### 3.3 ライセンスキーの取り扱い

#### 下記も参照

ライセンスキーのオフライン転送の概要 (ページ 51)

オフライン転送 - 開始コードの生成 (ページ 52)

オフライン転送 - 要求コードを生成する (ページ 53)

オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する (ページ 55)

### 3.3.16 ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンスプロファイルファイル

#### ライセンスプロファイルファイル

ライセンスプロファイルファイルは、ライセンスキーのオフライン転送の情報を交換するために使用されます。

オフライン転送は複数の手順で実行されます。

- 開始コードの生成
- 要求コードの生成
- アクティベーションコードの生成
- ライセンスキーの有効化

ライセンスプロファイルファイルには、プロセスの各手順ごとに異なるデータが含まれています。

ライセンスプロファイルファイルは、電子的なフォーム(たとえばフロッピーディスクや電子メールなど)で転送されます。

#### ライセンスプロファイルファイルのデータ

ライセンスプロファイルファイルにはオフライン転送用に以下のデータが保存されます。

- 製品名 - コンポーネントの名前
- ライセンス番号 - ライセンスキー転送の固有の番号
- 開始コード
- 要求コード
- アクティベーションコード

---

**注記**

**ライセンスプロファイルファイルの有効性**

ライセンスプロファイルファイルは、ライセンスキーのグループの 1 回限りの転送にのみ有効です。

転送を繰り返すには、新規ファイルが必要です。

---

**下記も参照**

ライセンスキーのオフライン転送の概要 (ページ 51)

## **3.4 Web ライセンスキーのダウンロード**

### **3.4.1 Web ライセンスキーのダウンロードの基本**

#### **Web ライセンスキーのダウンロードの要件**

ソフトウェアダウンロードから、注文したライセンスキーにアクセスすることができます。

アクセスするには、以下のものがが必要です。

- 「会社」に割り当てられたライセンスキーすべての取得に使用できる個別のログイン
- 個々のライセンスキーおよび対応する CoL (ライセンスの認定書)の取得に使用できる匿名ログイン。このドキュメントには、匿名ダウンロードに必要なすべてのデータが含まれています。

### 3.4 Web ライセンスキーのダウンロード

#### Web ライセンスキーのダウンロードの概要

お使いのコンピュータが、独立型のネットワークまたは低セキュリティレベルのネットワークに配置されている場合は、以下の手順に従うことをお勧めします。

- オートメーションシステムの外部に配置されているコンピュータに、**Automation License Manager** をインターネット経由で追加インストールします。
- **Web** ライセンスキーのダウンロードを説明に従って実行します。  
関連項目 **Web** ライセンスキーのダウンロード (ページ 60).
- ライセンスキーをライセンスキーディスクットに転送し、次にライセンスキーディスクットからオートメーションシステムのコンピュータに転送します。

<b>通知</b>
<b>Web</b> ライセンスキーのダウンロードのチェック ダウンロードの前に、転送メディアにウイルスがないことをチェックしてください。

#### 下記も参照

**Web** ライセンスキーのダウンロード (ページ 60)

**Web** ライセンスキーのダウンロード用ボタンの概要 (ページ 61)

### 3.4.2 Web ライセンスキーのダウンロード

#### Web ライセンスキーのダウンロード

**Web** ライセンスキーのダウンロードの基本 (ページ 59)に記載されているダウンロードの要件に注意してください。

次の手順を実行します。

1. [ビュー|管理]ビューを設定します。
2. ナビゲーションパネルで、[**Web** ライセンスキーのダウンロード]をクリックします。  
コンピュータがインターネットにアクセスできれば、**Automation Download Manager** はオブジェクト領域にウィンドウを開きます。
3. ダウンロードウィンドウに表示されるライセンスキーのダウンロードの指示に従います。

---

**注記****ダウンロード時のエラーメッセージ**

ソフトウェアダウンロードサーバーが使用できないというエラーメッセージを受け取った場合は、ファイアウォール設定を確認し、必要に応じてシステム管理者に問い合わせます。

ソフトウェアダウンロードサーバーが今のところ動作準備できていないというエラーメッセージを受け取った場合は、しばらくして再試行します。

---



**下記も参照**

Web ライセンスキーのダウンロードの基本 (ページ 59)



Web ライセンスキーのダウンロード用ボタンの概要 (ページ 61)

**3.4.3 Web ライセンスキーのダウンロード用ボタンの概要****Web ライセンスキーのダウンロード用ボタン**

Web ライセンスキーのダウンロード用に以下のボタンが用意されています。

ボタン	意味
	<b>[キャンセル]ボタン</b> [キャンセル]ボタンを使用すると、現在のページのダウンロードを中止します。
	<b>[開始ページ]ボタン</b> [開始ページ]ボタンにより、[Web ライセンスキーのダウンロード]の開始ページに移動します。

## 3.5 ネットワークでのライセンスキーの使用

ボタン	意味
	<b>[次へ]ボタン</b> [進む]ボタンを使用すると、前に表示したページに戻ります。 注記: [進む]ボタンは、[戻る]ボタンをクリックすると選択できるようになります。
	<b>[戻る]ボタン</b> [戻る]ボタンを使用すると、前に表示したページに戻ります。 注記: [戻る]ボタンをクリックする前に見ていたページを表示したい場合は、[次へ]ボタンをクリックします。

下記も参照

Web ライセンスキーのダウンロードの基本 (ページ 59)

Web ライセンスキーのダウンロード (ページ 60)

## 3.5 ネットワークでのライセンスキーの使用

### 3.5.1 ネットワークの既存ライセンスキーの参照

#### ネットワーク内の使用されていないライセンスキーでのソフトウェアの使用

ローカルに使用されていないライセンスがない場合でも、接続されたコンピュータ上にある使用されていない **Floating** ライセンスキーにより、プロテクトされているソフトウェア製品を使用することができます。

---

#### 注記

##### ライセンスキーの参照

接続されたコンピュータ上のライセンスキーを参照するには、その接続されたコンピュータをローカルコンピュータ上の **Automation License Manager** に入力する必要があります。

---

## Floating ライセンスキーへのより迅速なアクセスのための推奨事項

Floating ライセンスキーにより早くアクセスできるように、プラントのすべての Floating ライセンスキーを少数のコンピュータにのみインストールすることを推奨します。

---

### 注記

#### 接続されたコンピュータの表示




[ファイル|設定]メニューコマンドを選択した後、[お気に入り]タブを選択した場合、[既知のコンピュータ]の下に、過去のどこかの時点でローカル Automation License Manager に接続されていたコンピュータが表示されます。

---

Floating ライセンスキーへのアクセスを以下のように変えることができます。

- Floating ライセンスキーが格納されているコンピュータが、[検索リスト]に入力されていることを確認します。 これを行うには、[編集|コンピュータの接続]メニューコマンドを選択します。
- Floating ライセンスキーが格納されているコンピュータを[設定]ダイアログにある[検索リスト]の一番上の位置に移動し、不要なエントリを削除します。

検索リストでは、以下のボタンを使用できます。

ボタン	意味
	<b>[シフトアップ]ボタン</b> このボタンをクリックすると、リスト内で選択したコンピュータの Floating ライセンスキー検索順序が変わります。 コンピュータが 1 つ上の位置に移動します(ビュー内では 1 番上の位置が 1 番目のコンピュータとなります)。
	<b>[シフトダウン]ボタン</b> このボタンをクリックすると、リスト内で選択したコンピュータの Floating ライセンスキー検索順序が変わります。 コンピュータが 1 つ下の位置に移動します(ビュー内では 1 番上の位置が 1 番目のコンピュータとなります)。
	<b>[削除]ボタン</b> このボタンをクリックすると、リスト内で選択したコンピュータが Floating ライセンスキーの検索から削除されます。

### 3.5 ネットワークでのライセンスキーの使用

#### 下記も参照

ネットワーク経由で接続されたコンピュータ (ページ 64)

コンピュータ接続のエラー (ページ 65)

### 3.5.2 ネットワーク経由で接続されたコンピュータ

#### [コンピュータの接続]

[編集|コンピュータの接続]メニューコマンドを選択すると、[コンピュータの接続]ダイアログが開きます。ここでは、ネットワーク経由で到達可能なコンピュータへの接続を確立でき、そのコンピュータのライセンスキーの操作を可能にします。

---

#### 注記

##### [コンピュータの接続]

Automation License Manager がインストールされているコンピュータのみ接続することができます。

---

#### 手順

次の手順を実行します。

1. [コンピュータ名]で、到達可能なコンピュータの名前を入力するか、ドロップダウンリストから 1 つ選択します。  
以下をコンピュータ名に使用することができます。「ComputerName」または「ComputerName.Domain」および「IP アドレス」。
2. ネットワーク内のコンピュータを検索するには、[参照]をクリックします。
  - [ネットワーク全体]をダブルクリックします。
  - [Microsoft Windows ネットワーク]をダブルクリックします。
  - コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
  - コンピュータを選択し、[OK]をクリックして選択を確認します。
3. [表示名]の下に、コンピュータの任意の表示名を入力することができます(既定 = computer name)。
4. Automation License Manager 再起動後に、入力したコンピュータを使用可能にする場合は、[ナビゲーションウィンドウに常に表示する]チェックボックスを選択します。
5. ライセンスキーを検索するコンピュータのリストに、入力したコンピュータを含める場合は、[検索リストへの追加]チェックボックスを選択します。
6. [OK]をクリックして確認します。



## 下記も参照

ネットワークの既存ライセンスキーの参照 (ページ 62)

コンピュータ接続のエラー (ページ 65)

### 3.5.3 ネットワークのコンピュータの参照

#### コンピュータの参照

[コンピュータの検索]ダイアログを開くには、[コンピュータの接続]ダイアログで[参照]をクリックします。

次の手順を実行します。

1. [ネットワーク全体]をダブルクリックします。
2. [Microsoft Windows ネットワーク]をダブルクリックします。
3. コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
4. コンピュータを選択し、[OK]をクリックして選択を確認します。
5. 選択を確認して[OK]をクリックします。

### 3.5.4 コンピュータ接続のエラー

#### コンピュータ接続のエラーに関する注意

ネットワーク接続経由で接続されたコンピュータは **Floating** ライセンスキーを使用できます。

以下では、コンピュータ接続エラー時に **Floating** ライセンスキーがどのように動作するかを説明します。

#### ライセンスキーサーバー

ライセンスキーサーバーは、**Floating** ライセンスキーが格納されているコンピュータのことです。

### 3.5 ネットワークでのライセンスキーの使用

#### ライセンスキークライアント

ライセンスキークライアントは、サーバーからの **Floating** ライセンスキーを使用するコンピュータのことです。

#### 接続エラーのタイプ

ライセンスキーサーバー上の **Floating** ライセンスキーがライセンスキークライアント上のソフトウェア製品によって使用され、この 2 つのコンピュータ間の接続が失敗する場合、以下の原因が考えられます。

- ソフトウェア製品がクラッシュしている。
- ネットワーク接続が切断されている。
- ライセンスキークライアントがクラッシュしています。
- ライセンスキーサーバーがクラッシュしている。

#### ソフトウェア製品がクラッシュしている場合

ライセンスキークライアント上の **Automation License Manager** は、ソフトウェア製品によるライセンスキーの使用をモニタしています。これがクラッシュすると、**Automation License Manager** はすぐにライセンスキーサーバー上の関連するライセンスキーを解放します。

#### ネットワーク接続が切断された場合

ライセンスキーサーバーへのネットワーク接続の失敗後、ライセンスキークライアント上のソフトウェア製品を最長 3 時間継続して使用することができます。

ライセンスキーサーバー上の **Floating** ライセンスキーは、最長 3 時間「使用されている」状態が継続します。

ただし、ソフトウェア製品の再起動時にはこのライセンスキーが見つからないため、割り当てできません。

以下の状況が考えられます。

- 中断の継続が 3 時間未満の場合
  - ライセンスキーサーバー上の Automation License Manager は、ライセンスキークライアント(ライセンスキーを使用したコンピュータ)や「使用済み」ライセンスキーも検出します。
  - まだ「使用されている、以前の」ライセンスキーを検出されたライセンスキークライアントに割り当てます。
- 中断の継続が 3 時間以上の場合
  - ライセンスキーサーバー上でライセンスキーがリリースされます。
  - ライセンスキークライアントは、最初のコンタクトの場合と同様に動作します。
  - 3 時間後、以前に接続されたライセンスキークライアントが自動的に有効なライセンスキーを見つけようとします。使用できるライセンスキーがない場合、ライセンスキーを使用できない場合のアプリケーション固有の応答を開始します(定められた時間の経過後に通知するなど)。

#### ライセンスキークライアントがクラッシュしている場合

中断が 3 時間未満の場合、ライセンスキークライアントはサーバーへの接続が確立されていることを検出し、自動的に「使用済み」ライセンスキーを再度要求します。

中断が 3 時間以上継続した場合、ライセンスキーサーバー上のライセンスキーがリリースされます。

#### ライセンスキーサーバーがクラッシュしている場合

中断が 3 時間未満の場合、ライセンスキークライアントはサーバーへの接続が確立されていることを検出し、自動的に「使用済み」ライセンスキーを再度要求します。

中断が 3 時間以上続く場合は、ライセンスキークライアントが自動的に有効なライセンスキーを見つけようとします。ライセンスキーが見つからない場合、ライセンスキーを使用できない場合のアプリケーション固有の反応を開始します(定められた時間の経過後に通知するなど)。

#### 下記も参照

ネットワークの既存ライセンスキーの参照 (ページ 62)

ネットワーク経由で接続されたコンピュータ (ページ 64)

## 3.6 Automation License Manager に対するアクセス保護

### 3.6.1 SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護

#### SIMATIC Logon によるロール管理

SIMATIC Logon オプションパッケージのロール管理を使用すると、ユーザーおよびユーザーグループによる Automation License Manager のファンクションへのアクセスを制御できます。

このアクセス保護は、アプリケーション全体ではなく、個々のファンクションへのアクセスを制御します。

- このアクセス保護では、ユーザーは Automation License Manager とそのファンクションにアクセスする場合に、システムへのログオンを強制されます。
- ロール管理は、オペレーティングシステムのユーザーとユーザーグループに基づいています。
- 特定のタスクをロールに割り当てることで(表を参照)、ユーザーとユーザーグループの権限を簡単に割り当てられます。
- SIMATIC Logon がインストールされ、アクセス保護が有効の場合、SIMATIC Logon は、ログオンユーザーが一定のファンクションを使用する権限を持っているかどうかを直接確認して判定します。これらのユーザーの重複した管理/確認を防止するために、ライセンスキーを使用する権限はすべてのユーザーに与えられます。

#### ロール管理に関する用語の定義

以下では、SIMATIC Logon Role Management の最も重要な用語を説明します。

用語(フルスペル)	製品名
権限	権限は、SIMATIC Logon のロール管理により定義されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 権限は追加も削除もできません。</li></ul>
ユーザー/ユーザーグループ	ユーザーおよびユーザーグループは、コンピュータのユーザーアカウントで定義されます。

用語(フルスペル)	製品名
アクセス保護	アクセス保護は、特定のユーザーおよびユーザーグループに特定の操作を実行する権限を与えます。管理を簡単にするために、この処理はロールを使用して間接的に行われます。
ロール	<p>ロールには、ユーザーグループ/ユーザーが、<b>Automation License Manager</b> の範囲内で特定のアクションを実行するための承認が含まれます(たとえば、データの転送)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーおよびユーザーグループに、1 つ以上の権限を割り当てることができます。これにより、ユーザーにこれらのロールのすべての権限が与えられます。</li> <li>基本のロールは、<b>SIMATIC Logon</b> のロール管理により提供されます。</li> <li>必要に応じてカスタムのロールを追加または削除できます。</li> <li>権限のロールへの割り当て、または無効化ができます。</li> </ul>

下記も参照

Automation License Manager のファンクション権限およびロール (ページ 69)

ロール管理の呼び出しおよび有効化 (ページ 70)

### 3.6.2 Automation License Manager のファンクション権限およびロール

#### 概要

Automation License Manager に対して、以下の機能権限および役割を割り当てることができます。

機能	役割			
	ライセンス発行者	管理者	パワーユーザー	ユーザー
ライセンスキーの移転	x	x	x	
ライセンスキーのチェック	x	x	x	x

## 3.6 Automation License Manager に対するアクセス保護

機能	役割			
ライセンスキーの修復	×			
ライセンスキーのアップグレード/ダウングレード	×	×	×	
ライセンスキーの表示	×	×	×	×
ログブックの閲覧	×	×	×	
ログブックの削除	×	×		
アクセスコントロールの有効化/無効化	×	×		
プロジェクトの修正	×	×		

## 注記

## プロジェクトの変更権限

[プロジェクトの変更]権限は、Automation License Manager にアクセスするための役割および機能権限を割り当てできることを意味します。

## 下記も参照

SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)

ロール管理の呼び出しおよび有効化 (ページ 70)

## 3.6.3 ロール管理の呼び出しおよび有効化

## 必要条件

ロール管理を使用し、アクセス保護を有効にするには、次の要件を満たす必要があります。

- ユーザーおよびユーザーグループが **Windows** でセットアップされていること。
- SIMATIC Logon オプションパッケージがインストールされていること。

- 「Logon\_Administrator」ユーザーグループのセットアップが完了していること (SIMATIC Logon オンラインヘルプを参照)。
- 現在コンピュータにログオンしているユーザーは、「アクセス保護の有効/無効」 ([ファイル|設定]) 権限を持っている必要があります。

## SIMATIC Logon ロール管理の呼び出しと有効化

次の手順を実行します。

1. [ファイル|ロール管理]メニューコマンドで、SIMATIC Logon ロール管理を呼び出します。  
[SIMATIC Logon ロール管理]ダイアログが開きます。
2. 少なくとも 1 人のユーザーに「管理者」のロールを割り当てます。
3. 変更を保存し、[SIMATIC Logon のロール管理]ダイアログを閉じます。

---

### 注記

#### [SIMATIC Logon ロール管理]ダイアログ

[SIMATIC Logon ロール管理]ダイアログにおける作業の指示に関しては、SIMATIC Logon のオンラインヘルプにある[SIMATIC Logon ロール管理]ダイアログを参照してください。

---

4. [ファイル|ログオンの切り替え]メニューコマンドを選択して、[SIMATIC Logon Service]ダイアログを開き、管理者以上の権限を持つユーザー名でログオンします。
5. メニューコマンド[ファイル|設定]を選択します。  
[設定]ダイアログが開きます。
6. [SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]チェックボックスを選択します。

---

### 注記

#### [SIMATIC Logon のアクセス保護を有効化にする]オプション

[SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]チェックボックスが選択されていない場合は、すべてのユーザーがロール管理で変更を行うことができます。

[SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]オプションを選択した場合、「アクセス保護の有効/無効」権限のあるユーザーのみが、ロール管理で変更を行うことができます。

---

7. [OK]をクリックして、設定を適用します。

## 下記も参照

SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)

Automation License Manager のファンクション権限およびロール (ページ 69)





## Automation License Manager のアイコン

### 4.1 ツールバーのアイコン

#### 概要

[ビュー|ツールバー]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager のツールバーの表示を有効または無効にします。以下の図は、Automation License Manager の標準ビュー[ライセンスキー]のツールバーです。



#### 注記

##### ツールバーの表示

押された状態で表示されているボタンは、特定のステータスが有効であることを示します(ここでは、たとえば[管理]ビュー)。









背景が暗い灰色のアイコンには、以下の意味があります。

- このアイコンが示すファンクションが有効ではない。
- このアイコンが示すファンクションが使用できない。

ツールバーには、以下のアイコンが用意されています。

アイコン	メニューコマンド	キーボードショートカット	製品名
	[ファイル エクスポート]	CTRL+S	オブジェクト領域に表示された情報をエクスポートします
	[ファイル 印刷]	CTRL+P	オブジェクト領域に表示された情報を印刷します
	[ファイル 印刷プレビュー]		現在のオブジェクト領域の印刷プレビューを表示します。
	[編集 切り取り]	Ctrl + X	オブジェクト領域で選択したライセンスキーをクリップボードに移動します。 注記: 必ず[貼り付け]と一緒に使用します。

## 4.1 ツールバーのアイコン

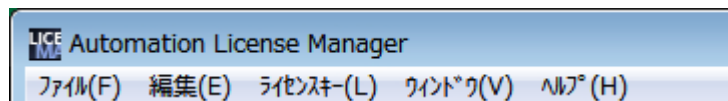
アイコン	メニューコマンド	キーボードショートカット	製品名
	[編集 貼り付け]	CTRL + V	クリップボードに格納されたライセンスキーを挿入します 注記: 必ず[切り取り]と一緒に使用します。
	[編集 削除]	DEL	オブジェクト領域で選択したオブジェクトを削除します。
	[ビュー 管理]		ライセンス管理のすべての管理タスクが使用可能です。 [管理]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 検索]		検索画面および結果を表示します。このビューは、特殊な照会の定義に使用します。 [検索]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー ログ]		記録されたログを表示します。 [ログ]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 定義する...]		[管理]ビューの内容および外観を定義します。
	[ビュー 更新]	F5	オブジェクト領域に表示された情報を更新します。
	[ヘルプ 状況に応じたヘルプ]	F1	選択したオブジェクトまたはメニューコマンドの状況に応じたヘルプを呼び出します。

## Automation License Manager のメニューコマンド

### 5.1 メニューコマンドの概要

#### Automation License Manager のメニューコマンド

以下のメニューコマンドを使用できます。



- [ファイル]メニュー
- [編集]メニュー
- [ライセンスキー]メニュー
- [ビュー]メニュー
- [ヘルプ]メニュー

### 5.2 [ファイル]メニュー

#### 5.2.1 [ファイル]メニューの概要

##### [ファイル]メニューのコマンド

[ファイル]メニューには、以下のコマンドがあります。

- エクスポート
- [ページ設定]
- [印刷プレビュー]
- Print
- [設定]

## 5.2 [ファイル]メニュー

- [ログオンの切り替え]
- [ロール管理]
- 終了

---

### 注記

#### ヘルプの呼び出し

メニューコマンドについてのヘルプ表示するには、コマンドを選択し、F1 キーを押します。

---

### 下記も参照

- [エクスポート] ([ファイル]メニュー) (ページ 76)
- [ページ設定] ([ファイル]メニュー) (ページ 77)
- [印刷プレビュー] ([ファイル]メニュー) (ページ 77)
- [印刷] ([ファイル]メニュー) (ページ 77)
- [設定] ([ファイル]メニュー) (ページ 78)
- [ログオンの切り替え] ([ファイル]メニュー) (ページ 79)
- ロール管理([ファイル]メニュー) (ページ 79)
- [終了] ([ファイル]メニュー) (ページ 81)

### 5.2.2 [エクスポート] ([ファイル]メニュー)

#### エクスポート



[ファイル|エクスポート]メニューコマンドを使用して、オブジェクト領域の現在の表示を CSV 形式でエクスポートします。

### 5.2.3 [ページ設定] ([ファイル]メニュー)

#### [ページ設定]

[ファイル|ページ設定]メニューコマンドでは、[ページ設定]ダイアログを開きます。このダイアログでは、以下のオプションが選択可能です。

- 用紙のフォーマットを設定する
- 選択したプリンタの給紙方法を選択する
- 用紙方向(縦方向、横方向)を設定する
- ページ余白を設定する
- [プリンタ]ボタンによってプリンタを選択する
- [キャンセル]ボタンでダイアログを閉じる
- [OK]をクリックしてページ設定を受け入れる

### 5.2.4 [印刷プレビュー] ([ファイル]メニュー)

#### [印刷プレビュー]



[ファイル|印刷プレビュー]メニューコマンドでは、現在のオブジェクト領域の印刷のプレビューが表示され、予想される印刷結果を確認することができます。

### 5.2.5 [印刷] ([ファイル]メニュー)

#### Print



[ファイル|印刷]メニューコマンドを使用して、オブジェクト領域の現在のビューにあるデータを印刷します。

## 5.2 [ファイル]メニュー

現在のビューには、ナビゲーションパネルの選択または検索結果から得られたすべてのデータが含まれています。フィルタ、ソート、グルーピングおよび列選択の設定は、引き続き有効です。

[印刷]ダイアログには、以下のオプションがあります。

- [名前]リスト内でプリンタの名前を選択する
- 特定のプリンタに対して、[プロパティ]ボタンを使用して設定を行う
- [ファイルへの印刷]オプションを実行して、ドキュメンテーションをファイルに保存する(たとえば、インストールしたプリンタがコンピュータにない場合)
- 印刷範囲を設定する(全ページまたは選択したページ)
- 印刷する部数を設定する
- [キャンセル]ボタンでダイアログを閉じる
- [OK]ボタンをクリックしてプリンタにデータを送信する

### 5.2.6 [設定] ([ファイル]メニュー)

#### [設定]

[ファイル][設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、以下の設定を行うことができます。

#### [全般]タブ:

- アクセス保護の有効化。これには、お使いのコンピュータに SIMATIC Logon がインストールされている必要があります。
- 両方のオプションを選択して、外部からのアクセスをブロックします。
- Automation License Manager の言語を指定します。

#### [お気に入り]タブ:

- [既知のコンピュータ]の下で左側に、過去に 1 度以上このローカル Automation License Manager に接続されたコンピュータが表示されます。
- [検索リスト]の下で右側では、接続されたコンピュータ上で Floating ライセンスキーの検索を実行するための検索順序を設定します。

**[接続]タブ**

- ここで、他のコンピュータへの接続の設定を定義します。

**[リセット]タブ**

- ユーザー定義設定を既定にリセットしたり、その設定を削除することができます。

## 5.2.7 [ログオンの切り替え] ([ファイル]メニュー)

**[ログオンの切り替え]**

[ファイル|ログオンの切り替え]メニューコマンドでは、[SIMATIC Logon Service]ダイアログが開きます。このメニューコマンドは、SIMATIC Logon がインストールされている場合にのみ有効になります。

ここでは、Automation License Manager にアクセスするためのユーザーまたはパスワードを変更します。

---

**注記****SIMATIC Logon のオプションパッケージ**

SIMATIC Logon オプションパッケージによる操作の詳細については、SIMATIC Logon のオンラインヘルプを参照してください。

---

## 5.2.8 ロール管理([ファイル]メニュー)

**役割管理**

[ファイル|役割管理]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager を許可するユーザーおよびその役割を指定します。

Automation License Manager の役割管理には SIMATIC Logon サービスを使用します。このメニューコマンドは、SIMATIC Logon がインストールされている場合にのみ有効になります。

## 5.2 [ファイル]メニュー

以下のダイアログで、役割および機能権限を **Windows** で設定されたユーザーに割り当てることができます(備考参照)。各機能に役割および権限を割り当てることができます。

**Automation License Manager** のために、以下の役割および機能権限を割り当てることができます。

機能	役割:			
	ライセンス 発行者	管理者	パワーユーザ ー	ユーザー
ライセンスキーの移転	X	X	X	
ライセンスキーのチェック	X	X	X	X
ライセンスキーの修復	X			
ライセンスキーのアップグレード/ダウングレード	X	X	X	
ライセンスキーの表示	X	X	X	X
ログブックの閲覧	X	X	X	
ログブックの削除	X	X		
アクセスコントロールの有効化/無効化	X	X		
プロジェクトの修正 (これは、Automation License Manager にアクセスするための役割および機能権限を割り当てられることを意味します。)	X	X		

**SIMATIC Logon** がインストールされ、アクセス保護が有効の場合、**SIMATIC Logon** は、ログオンユーザーが一定の機能を使用する権限を持っているかどうかを直接確認して判定します。

これらのユーザーの重複した管理/確認を防止するために、ライセンスキーを使用する権限はすべてのユーザーに与えられます。



---

**注記****SIMATIC Logon のオプションパッケージ**

SIMATIC Logon オプションパッケージによる操作の詳細については、SIMATIC Logon のオンラインヘルプを参照してください。

---

## 5.2.9 [終了] ([ファイル]メニュー)

### 終了

[ファイル]終了]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager を終了します。

## 5.3 [編集]メニュー

### 5.3.1 [編集]メニューの概要

#### [編集]メニューのコマンド

[編集]メニューには、以下のコマンドがあります。

- 元に戻す
- やり直し
- [コンピュータの接続]
- [新規フォルダ]
- 切り取り
- 貼り付け
- 名前変更
- 削除
- [ログの削除]

### 5.3 [編集]メニュー

- [すべて選択]
- [選択の反転]

---

#### 注記

##### ヘルプの呼び出し

メニューコマンドについてのヘルプ表示するには、コマンドを選択し、F1 キーを押します。

---

---

#### 注記

##### その他のメニューコマンド

1 つ以上の Automation License Manager プラグインをインストールした場合は、追加のメニューコマンドを使用できる場合があります。

---

#### 下記も参照

- [元に戻す] ([編集]メニュー) (ページ 83)
- [やり直し] ([編集]メニュー) (ページ 83)
- [コンピュータの接続] ([編集]メニュー) (ページ 83)
- [新規フォルダ] ([編集]メニュー) (ページ 84)
- [切り取り] ([編集]メニュー) (ページ 85)
- [貼り付け] ([編集]メニュー) (ページ 86)
- [名前の変更] ([編集]メニュー) (ページ 86)
- 削除([編集]メニュー) (ページ 86)
- [ログの削除] ([編集]メニュー) (ページ 87)
- [すべて選択] ([編集]メニュー) (ページ 87)
- [選択の反転] ([編集]メニュー) (ページ 87)

### 5.3.2 [元に戻す] ([編集]メニュー)

#### 元に戻す

[編集]元に戻す]メニューコマンドを使用して、最後に実行したアクションを元に戻します。

### 5.3.3 [やり直し] ([編集]メニュー)

#### やり直し

[編集]やり直し]メニューコマンドを使用して、アクションを元に戻す([編集]元に戻す]前に存在した状態に回復します。

### 5.3.4 [コンピュータの接続] ([編集]メニュー)

#### [コンピュータの接続]

[編集]コンピュータの接続]メニューコマンドを使用して、[コンピュータの接続]ダイアログを開きます。

ここでは、ネットワーク経由で到達可能なコンピュータへの接続を確立でき、そのコンピュータのライセンスキーの操作を可能にします。

---

#### 注記

#### 必要条件

Automation License Manager がインストールされているコンピュータのみ接続することができます。

---

### 5.3 [編集]メニュー

以降の手順:

1. [コンピュータ名]で、到達可能なコンピュータの名前を入力するか、ドロップダウンリストから 1 つ選択します。以下をコンピュータ名に使用することができます。  
「ComputerName」または「ComputerName.Domain」 および「IP アドレス」。
2. ネットワーク内のコンピュータを検索するには、[参照]をクリックします。
  - [ネットワーク全体]をダブルクリックします。
  - [Microsoft Windows ネットワーク]をダブルクリックします。
  - コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
  - コンピュータを選択し、[OK]をクリックして選択を確認します。
3. [表示名]の下に、コンピュータの任意の表示名を入力することができます(既定 = computer name)。
4. Automation License Manager 再起動後に、入力したコンピュータを使用可能にする場合は、[ナビゲーションウィンドウに常に表示する]チェックボックスを選択します。
5. ライセンスキーを検索するコンピュータのリストに、入力したコンピュータを含める場合は、[検索リストへの追加]チェックボックスを選択します。
6. [OK]をクリックして確認します。



#### 5.3.5 [新規フォルダ] ([編集]メニュー)

##### [新規フォルダ]

[編集|新規フォルダ]メニューコマンドを使用して、[新規フォルダの挿入]ダイアログを開きます。これにより、ワークグループ作成や各種ライセンスキーの管理のための新規フォルダを作成します。作成されるフォルダは、ナビゲーションパネルの左側で選択したオブジェクトによって異なります。

**新規フォルダの作成の条件:**

新規フォルダが一般的なフォルダになるか、またはライセンスキーフォルダになるかは、作成される場所によって異なります。

アイコン	製品名
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表示します。 このようなフォルダを作成する前に、ナビゲーションパネルに移動し、[マイコンピュータ]を選択します。
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表示します。 このようなフォルダを作成する前に、ナビゲーションパネルに移動し、以下を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● ローカルデータメディア</li> <li>● 既に存在しているライセンスキーフォルダ</li> </ul>

## 以降の手順:

1. [管理]ビューを選択します。
2. メニューバーにあるドロップダウンリストで、[ライセンスキー]表示を選択します。
3. 上の表に記載されているように、ナビゲーションパネルで必要なオブジェクトを選択します。
4. 一般的なフォルダを作成するには、[マイデスクトップ]を選択します。
5. ライセンスキーフォルダを作成するには、[ローカルデータメディア]または既存のライセンスキーフォルダを選択します。
6. ショートカットメニューまたはメニューを使用して、[編集]新規フォルダ]コマンドを選択します。
7. [新規フォルダの挿入]ダイアログで、新規フォルダの名前を入力します。
8. [OK]をクリックして確認します。  
結果: ユーザーが割り当てた名前で、新規フォルダがナビゲーションパネルに表示されます。

## 5.3.6 [切り取り] ([編集]メニュー)

## 切り取り



[編集]切り取り]メニューコマンドを使用して、オブジェクトを取り除きます(フォルダ、コンピュータ、およびライセンスキー)。

## 5.3 [編集]メニュー

### 5.3.7 [貼り付け] ([編集]メニュー)

#### 貼り付け



[編集|貼り付け]メニューコマンドを使用して、クリップボード上のオブジェクトを移動します。オブジェクトは、[編集|切り取り]コマンドを使用してクリップボードに配置されます。

以下のオブジェクトを貼り付けることができます。

- フォルダ
- ライセンスキーフォルダ
- コンピュータ
- ライセンスキー

### 5.3.8 [名前の変更] ([編集]メニュー)

#### 名前変更

[編集|名前の変更] メニューコマンドを使用して、オブジェクトの名前を変更します(例: ナビゲーションパネル内のフォルダ)。

### 5.3.9 削除([編集]メニュー)

#### 削除



[編集|削除]メニューコマンドを使用して、オブジェクトを削除します(例: フォルダの削除、接続されたコンピュータの切断)。

ライセンスキーフォルダは空のとき、つまりライセンスキーが含まれていない場合にのみ削除できます。

### 5.3.10 [ログの削除] ([編集]メニュー)

#### [ログの削除]

[編集]ログの削除]メニューコマンド([ログ]ビューが前面にある場合のみ使用可能)を使用して、ログファイルの内容を削除します。

### 5.3.11 [すべて選択] ([編集]メニュー)

#### [すべて選択]

[編集]すべて選択]メニューコマンドを使用して、領域またはリスト内で、すべてのオブジェクトを選択します。

### 5.3.12 [選択の反転] ([編集]メニュー)

#### [選択の反転]

[編集]選択の反転]メニューコマンドを使用して、オブジェクトの選択を反転します。

このメニューコマンドは、領域またはリスト内の選択済みオブジェクトを以下のように変更します。

- 以前に選択していなかったオブジェクトをすべて選択する
- 以前に選択していたオブジェクトの選択をすべて解除する

## 5.4 [ライセンスキー]メニュー

### 5.4.1 [ライセンスキー]メニューの概要

#### [ライセンスキー]メニューのコマンド

[ライセンスキー]メニューには、以下のコマンドがあります。

- 転送
- ライセンス要求の同期化
- [オフライン転送]
- Check
- [回復]
- [復元ウィザード]
- アップグレード

---

#### 注記

##### ヘルプの呼び出し

メニューコマンドについてのヘルプ表示するには、コマンドを選択し、F1 キーを押します。

---

---

#### 注記

##### その他のメニューコマンド

1 つ以上の Automation License Manager プラグインをインストールした場合は、追加のメニューコマンドを使用できる場合があります。

---

#### 下記も参照

[転送] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 89)

ライセンス要求の同期化 ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 89)

[オフライン転送] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 90)

[チェック] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 91)



[復元] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 91)

[復元ウィザード] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 91)

[アップグレード] ([ライセンスキー]メニュー) (ページ 92)

## 5.4.2 [転送] ([ライセンスキー]メニュー)

### 転送

[ライセンスキー|転送]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーの転送]ダイアログを開きます。このダイアログボックスを使用して、ライセンスキーを別の転送先ドライブに転送することができます。

## 5.4.3 ライセンス要求の同期化 ([ライセンスキー]メニュー)

### ライセンス要求の同期化

[ライセンスキー|ライセンス要求の同期化]メニューコマンドを使用して、[ライセンス要求の同期化]ダイアログを開きます。このダイアログを使用して、お使いのコンピュータ上のソフトウェア製品にライセンスを与えます。

---

### 注記

#### **Floating** ライセンスキー

お使いのコンピュータがネットワーク上で使用可能な場合は、そのコンピュータ上のライセンスキーの代わりに、**Floating** ライセンスキーを使用することができます。

---

## 5.4 [ライセンスキー]メニュー

### 5.4.4 [オフライン転送] ([ライセンスキー]メニュー)

#### [オフライン転送]

[ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログを開きます。このダイアログでは、ステップバイステップでオフライン転送を行うことができます。

ライセンスキーのオフライン転送は、2 台のコンピュータ間でのみ実行することができます。ライセンスプロファイルファイルが 5 のステップでコンピュータ間で転送されます。

---

#### 注記

##### [オフライン転送]

オフライン転送とは、ライセンスキーの転送に接続(ネットワーク経由など)を必要としないことを意味します。

---

#### ライセンスキーのオフライン転送の手順

転送先のコンピュータは、ソフトウェアのライセンスキーの必要なコンピュータです。

転送元のコンピュータは、ソフトウェアのライセンスキーが利用可能なコンピュータです。

1. 転送先コンピュータ上:
  - ライセンスキーのないソフトウェアを識別します
  - ライセンスキーの要求を送信します(電話、FAX、電子メールなどによる)
2. 転送元コンピュータ上: 開始コードの生成
3. 転送先コンピュータ上: 要求コードの生成
4. 転送元コンピュータ上: アクティベーションコードの生成
5. 転送先コンピュータ上: ライセンスキーの有効化

### 5.4.5 [チェック] ([ライセンスキー]メニュー)

#### チェック

[1 ライセンスキー|チェック]メニューコマンドを使用して、選択したライセンスキーをチェックします。チェックの結果は、[ライセンスキーの確認]ダイアログに、ライセンスキーの該当するステータスアイコンで表示されます。

### 5.4.6 [復元] ([ライセンスキー]メニュー)

#### [復元]

[ライセンスキー|復元]メニューコマンドを使用して、ハードディスクの欠落または異常のために使用できないライセンスキーを修復します。

このメニューコマンドによって[ライセンスキーの修復]ダイアログが開き、「ライセンス管理のサポート」の支援によりライセンスキーを修復することができます。

### 5.4.7 [復元ウィザード] ([ライセンスキー]メニュー)

#### [復元ウィザード]

[ライセンスキー|復元ウィザード]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーの回復ウィザード]ダイアログを開きます。

[復元ウィザード]を使用して、ハードディスクの故障または異常のために使用できなくなった1つ以上のライセンスキーを修復することができます。ライセンスキーを回復するには、A&D カスタマーサポートからの支援が必要です。

このウィザードでは、ステップバイステップでプロセス全体を実行することができます。

以下のダイアログが呼び出されます。

- 復元ウィザード: ライセンスキーを選択します
- 復元ウィザード: リペアコードの入力
- 復元ウィザード: 結果

## 5.5 [ビュー]メニュー

### 5.4.8 [アップグレード] ([ライセンスキー]メニュー)

#### アップグレード

[ライセンスキー|アップグレード]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーのアップグレード]ダイアログを開きます。このダイアログには、アップグレードが利用可能なライセンスキーが表示されます。

## 5.5 [ビュー]メニュー

### 5.5.1 [ビュー]メニューの概要

#### [ビュー]メニューのコマンド

[ビュー]メニューには、以下のコマンドがあります。

- 定義
- [管理]
- [検索]
- [ログ]
- 更新
- ツールバー
- ステータスバー

---

#### 注記

##### ヘルプの呼び出し

メニューコマンドについてのヘルプ表示するには、コマンドを選択し、F1 キーを押します。

---

#### 下記も参照

[定義] ([ビュー]メニュー) (ページ 93)

[管理] ([ビュー]メニュー) (ページ 93)

- [検索] ([ビュー]メニュー) (ページ 94)
- [ログ] ([ビュー]メニュー) (ページ 96)
- [更新] ([ビュー]メニュー) (ページ 96)
- [ツールバー] ([ビュー]メニュー) (ページ 97)
- [ステータスバー] ([ビュー]メニュー) (ページ 99)

## 5.5.2 [定義] ([ビュー]メニュー)

### 定義



[ビュー|定義]メニューコマンドを使用して、ビューを定義するためのダイアログを開きます。

ここでは、次の設定が可能です。

- 使用可能なビューを選択して有効にする
- 要件に従って、新しいビューを定義する

Automation License Manager とともに、[管理]ビュー用にあらかじめ定義された複数の標準ビューがインストールされます。

## 5.5.3 [管理] ([ビュー]メニュー)

### [管理]



[ビュー|管理]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager に[管理]ビューを開きます。

このビューは、標準ビューとして事前設定されています。コンピュータ上の使用可能なライセンスキーデータに関する情報が、このビューに表示されます。

ナビゲーションパネルで選択し、オブジェクト領域に表示する




## 5.5 [ビュー]メニュー

左側のナビゲーションパネルでコンピュータを選択すると、右側にそのコンピュータに関する情報がオブジェクト領域に表示されます(たとえば、このコンピュータに格納されたライセンスキー、またはインストール済みのソフトウェアに関する情報)。

- 左側のナビゲーションパネルには、以下のフォルダ構造が表示されます。

フォルダ	製品名	サブフォルダ
マイコンピュータ	これはユーザーが作業するローカルコンピュータです。	マイコンピュータ内のフロッピードライブとハードディスク
注記: ナビゲーションパネルでは、追加のオブジェクト(フォルダ、ライセンスキーフォルダ、およびコンピュータ)を作成することができます。		

- 左側で選択したオブジェクトに応じて、右側のオブジェクト領域には、このオブジェクトに付随するすべてのエレメントがテーブル内にアイコンとして表示されます。この表は印刷およびエクスポートできます。

アイコン	製品名
	使用中のコンピュータ(マイコンピュータ)または接続されたコンピュータのアイコン。
	使用中のコンピュータまたは接続されたコンピュータ上のフロッピードライブのアイコン。
	使用中のコンピュータまたは接続されたコンピュータ上のハードディスクのアイコン。

[ビューの定義]ダイアログを使用して、ここに表示する情報を選択します。[ビュー|定義]メニューコマンドを選択して、このダイアログを開きます。

## 5.5.4 [検索] ([ビュー]メニュー)

## [検索]



[ビュー][検索]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager に[検索]ビューを開きます。

- 左側のナビゲーションパネルに、検索用オプション用のボックスが表示されます。次の検索オプションを入力できます。

入力ボックスまたはオプション	説明および可能な選択
検索用語	一般検索用語
製品	製品固有の照会オプション
保存先	コンピュータのドライブ(全ドライブ、使用中のコンピュータ、接続されたコンピュータ)
標準ライセンスタイプ	すべて、Master、Floating、Single、Upgrade
ライセンスタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべて</li> <li>● Count relevant</li> <li>● Countable objects</li> <li>● Demo</li> <li>● Unlimited</li> <li>● PowerPack (パワーパック)</li> <li>● Rental</li> <li>● Trial</li> </ul>
ステータス	<p>ライセンスキーのステータスを表示します(ライセンスキーを選択して、[ライセンスキー][確認]を選択します)。</p> <p>表示されるステータスの例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ライセンスキー OK です。</li> <li>● ライセンスキーが壊れています。</li> <li>● ライセンスキーが使用中です。</li> <li>● ライセンスキー OK - 非アクティブ(オフライン転送でまだ有効になっていない)</li> <li>● インストール済みのソフトウェア(必要なライセンスキーなし)</li> </ul>
次のユーザーが使用中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべて</li> <li>● ユーザー名</li> </ul>

- 検索結果を含む表は、右側のオブジェクト領域に表示されます。左側のナビゲーションパネルで指定された検索条件用のエントリ 1 つに対し、1 つの行が割り当てられます。この表は印刷およびエクスポートできます。

## 5.5 [ビュー]メニュー

### 5.5.5 [ログ] ([ビュー]メニュー)

#### [ログ]



[ビュー|ログ]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager に[ログ]ビューを開きます。ログには、ライセンスキーに影響するすべての実行済みアクションが含まれます(たとえば、ソフトウェアによるライセンスキーの使用、ライセンスキーの転送など)。

左側のナビゲーションパネルに、使用可能なオプションが表示されます。

1. オブジェクト領域で、格納されたログを開きたい場所(マイコンピュータ、接続されたコンピュータ)を選択します。
2. 必要なエントリ数を選択、またはログを表示する時間を選択します。
3. フィルタを使用したい場合は、[フィルタ]チェックボックスを選択します。リストから、必要なフィルタを選択します。
4. [更新]ボタンをクリックします。

右側のオブジェクト領域に、ログを含む表が表示されます

この票は、左側で選択したオプションに対応しており、印刷およびエクスポートが可能です。

### 5.5.6 [更新] ([ビュー]メニュー)

#### 更新



[ビュー|更新]メニューコマンドを使用して、ダイアログの選択領域に表示されている内容を更新します。



### 5.5.7 [ツールバー] ([ビュー]メニュー)

#### ツールバー

[ビュー|ツールバー]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager のツールバーの表示を有効または無効にします。

#### ツールバーの機能

以下の図では、デフォルトビュー[ライセンスキー]が有効になっています。



#### 注記

##### ツールバー

押された状態で表示されているボタンは、特定のステータスが有効であることを示します(ここでは、たとえば[管理]ビュー)。










背景が暗い灰色のアイコンには、以下の意味があります。

- このアイコンが示すファンクションが有効ではない。
- このアイコンが示すファンクションが使用できない。

ツールバーでは、以下の機能が使用可能です。





アイコン	メニューコマンド	キーボードショートカット	製品名
	[ファイル エクスポート]	CTRL+S	オブジェクト領域に表示された情報をエクスポートします
	[ファイル 印刷]	CTRL+P	オブジェクト領域に表示された情報を印刷します
	[ファイル 印刷プレビュー]		現在のオブジェクト領域の印刷プレビューを表示します。

## 5.5 [ビュー]メニュー

アイコン	メニューコマンド	キーボード ショートカ ット	製品名
	[編集 切り取り]	Ctrl + X	オブジェクト領域で選択したライセンス キーをクリップボードに移動します。 <b>注記:</b> 必ず[貼り付け]と一緒に使用しま す。
	[編集 貼り付け]	CTRL + V	クリップボードに格納されたライセンス キーを挿入します <b>注記:</b> 必ず[切り取り]と一緒に使用しま す。
	[編集 削除]	DEL	オブジェクト領域で選択したオブジェク トを削除します。
	[ビュー 管理]		ライセンス管理のすべてのタスク実行が 可能です。 [管理]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 検索]		検索画面および結果を表示します。この ビューは、特殊な照会の定義などに使用 します。 [検索]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー ログ]		記録されたログを表示します。 [ログ]ビューを最前面に移動します。
	[ビュー 定義する...]		[管理]ビューの内容およびレイアウトを 定義できます。
	[ビュー 更新]	F5	オブジェクト領域に表示された情報を更 新します。
	[ヘルプ 状況に応じた ヘルプ]	F1	選択したオブジェクトまたはメニューコ マンドの状況に応じたヘルプを呼び出し ます。

## 「Web ライセンスキーのダウンロード」用のツールバーのファンクション

Web ライセンスキーのダウンロード用に以下のツールバーのボタンも使用可能です。

アイコン	製品名
	[Web ライセンスキーのダウンロード]の、前に表示したページを呼び出すには、このアイコンを使用します。
	[Web ライセンスキーのダウンロード]の、[戻る]ボタンで表示したページの前に表示されていたページを呼び出すには、このアイコンを使用します。
	[Web ライセンスキーのダウンロード]のページの呼び出しをキャンセルするには、このアイコンを使用します。
	[Web ライセンスキーのダウンロード]の開始ページを呼び出すには、このアイコンを使用します。

### 5.5.8 [ステータスバー] ([ビュー]メニュー)

#### ステータスバー

[ビュー|ステータスバー]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager のステータスバーの表示を有効/無効にします。

#### 表示情報

ステータスバーには、さまざまな領域の以下の情報が表示されます(左から右へ読む)。

Field	領域名	製品名
1	ツールチップ	選択したオブジェクト(ボタンなど)のツールヒントを表示します
2	ライセンスキー	選択したウィンドウ内のライセンスキーの数を表示します。 アクティブな <b>Web</b> ライセンスキーのダウンロード用の進捗状況バーを表示します。
3	ユーザー	<b>SIMATIC Logon</b> がインストールされている場合は、 <b>SIMATIC Logon</b> に経由で現在ログオンしているユーザーが表示されます。 <b>SIMATIC Logon</b> がインストールされていない場合は、[不明]が表示されます。

## 5.6 [ヘルプ]メニュー

Field	領域名	製品名
4	フィルタ	フィルタ設定付きの表示が、有効になっていることを示します。
5	Shift キー	シフトキー(Shift Lock キー、CAP キー)のステータスを表示します。
6	Num キー	Num キー(Num Lock キー、Num キー)のステータスを表示します。
7	スクロールキー	スクロールキー(Scroll Lock キー、SCRL キー)のステータスを表示します。

## 5.6 [ヘルプ]メニュー

## 5.6.1 [Automation License Manager についてのヘルプ]

## [ヘルプ]メニューのコマンド

[ヘルプ]Automation License Manager についてのヘルプ]メニューコマンドを使用して、Automation License Manager のオンラインヘルプを開きます。

## 下記も参照

コンテキスト依存ヘルプ (ページ 100)

バージョン情報 (ページ 101)

## 5.6.2 コンテキスト依存ヘルプ

## コンテキスト依存ヘルプ

[ヘルプ]状況に応じたヘルプ]メニューコマンドを使用して、クエスチョンマークカーソルを有効にします。有効にしたクエスチョンマークカーソルで Automation License Manager のオブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトのオンラインヘルプが表示されます。

### 5.6.3 バージョン情報

#### バージョン情報

[ヘルプ|バージョン情報]を使用して、現在インストールされている Automation License Manager のバージョンを表示するダイアログを開きます。

## 5.6 [ヘルプ]メニュー

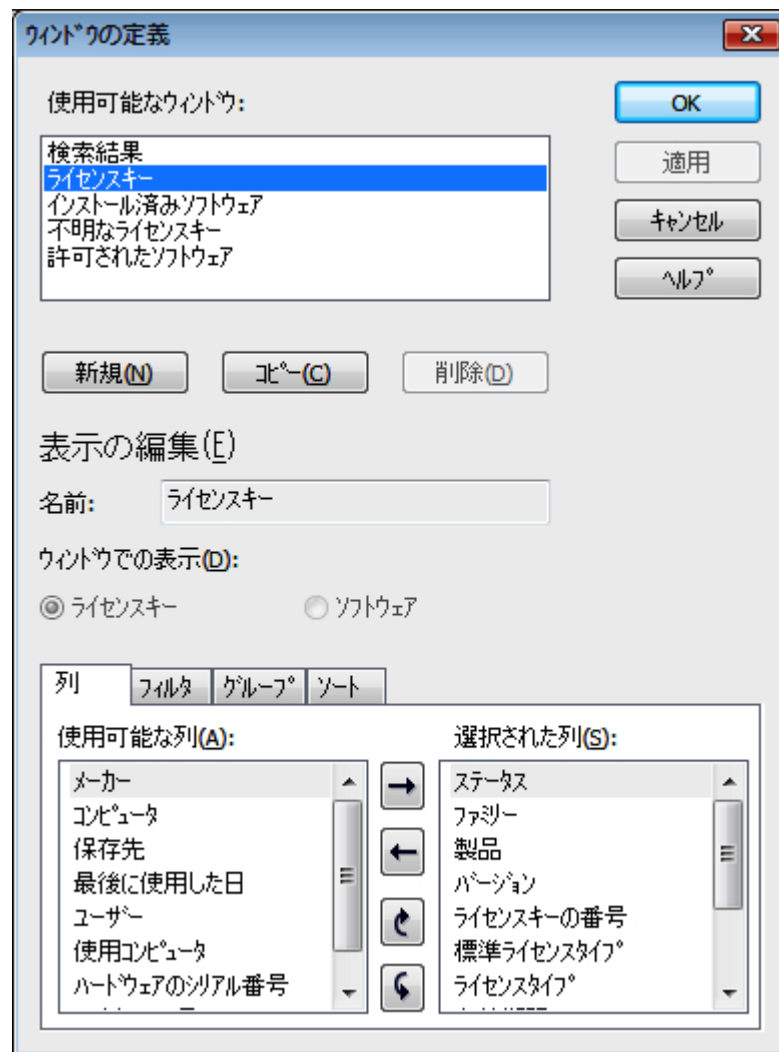
## Automation License Manager のダイアログ

### 6.1 [ビューの定義]ダイアログ

#### [ビューの定義]ダイアログでの設定

[ビュー|定義]メニューコマンドを使用して、[ビューの定義]ダイアログを開きます。

ここでは、使用可能なビューを選択、あるいは新しいビューを作成して編集することができます。



## 6.1 [ビューの定義]ダイアログ

### 使用可能なビュー

[使用可能なビュー]リストには、使用可能なビューがすべて表示されます。

自動的に表示される上記の標準ビューに加え、ユーザーが作成したビューもここに表示されます。

---

### 注記

#### Automation License Manager でのビューの編集

自動的に使用可能となる標準ビュー(検索結果、ライセンスキー、インストール済みのソフトウェア、不足しているライセンスキー、および許可されたソフトウェア)は、コピー/変更できますが、削除することはできません。

作成したビューおよびコピーしたビュー、または新しいビューは、削除することができます。

---

## [ビューの定義]ダイアログのボタンの意味

### [新規作成]ボタン

新しいビューを作成する場合、このボタンをクリックします。

[名前]ボックスにビューの名前を入力し、[列]、[フィルタ]、[グループ]、および[ソート]タブを使用してビューを編集します。

### [コピー]ボタン

[使用可能なビュー]でコピーしたいビューを選択し、[コピー]をクリックします。

[名前]ボックスにビューの名前を入力し、[列]、[フィルタ]、[グループ]、および[ソート]タブを使用してビューを編集します。

### [削除]ボタン

[使用可能なビュー]で削除したいビューを選択し、[削除]をクリックします。

### ビューの編集

[使用可能なビュー]で選択したビューが、このボックスに格納されます。

[新規]または[コピー]ボタンをクリックした後、このビューの新しい名前を入力することができます。新たに作成するビューが、ライセンスキー用かソフトウェア用かに応じて、[ライセンスキー]または[ソフトウェア]オプションを選択することができます。[適用]ボタンによって入力を適用します。



**[列]タブ**

このタブで、ビューに表示される列の選択と順序を設定します。

**[フィルタ]タブ**

このタブで、表示する情報を限定するフィルタを 2 つ設定できます。

**[グループ]タブ**

このタブでグループ化を定義できます。

**[ソート]タブ**

このタブで、ソートの順序を指定します。

**下記も参照**

[ビューの定義]ダイアログの[列]タブ (ページ 105)

[ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ (ページ 107)

[ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ (ページ 109)

[ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ (ページ 111)

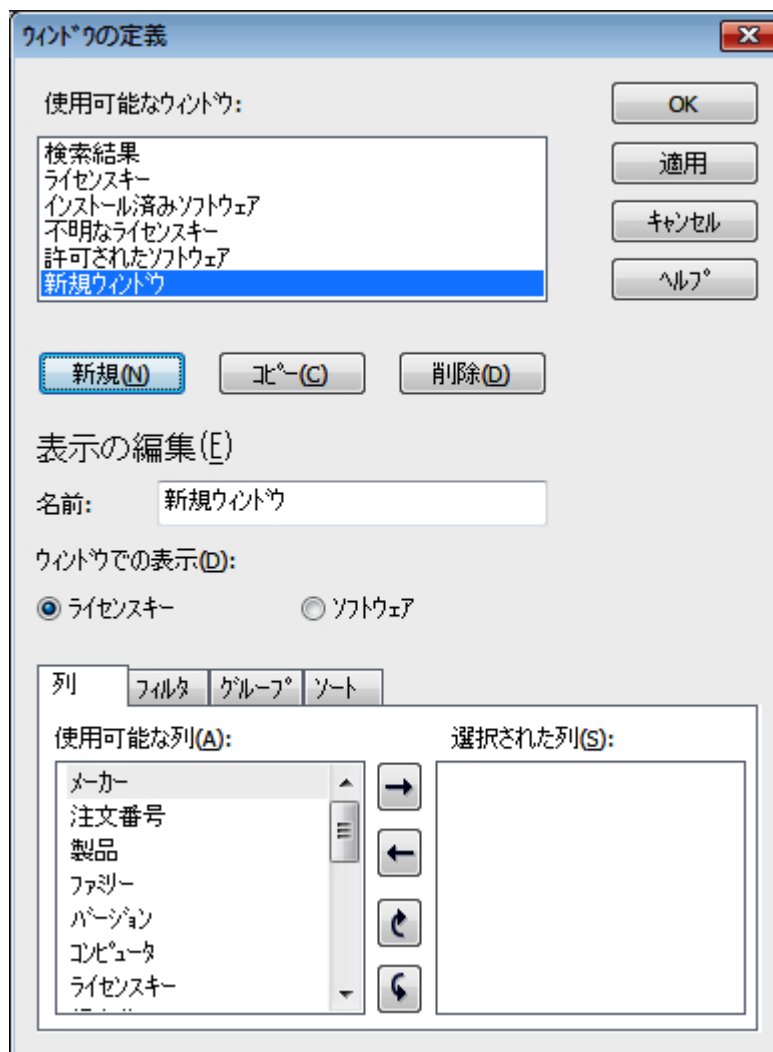
## 6.2 [ビューの定義]ダイアログの[列]タブ

**[列]タブでの設定**

[列]タブは、[ビューの定義]ダイアログの一部です。

このタブで、変更したいビュー(作成またはコピーしたビュー)のために、表示させる列およびその列の順序を設定します。

## 6.2 [ビューの定義]ダイアログの[列]タブ

**使用できる列**





[使用可能な列]リストに表示された列を[新規ウィンドウ]に追加することができます。

**選択された列**

[選択済みの列]リストに表示された列を[新規ウィンドウ]に表示させます。

順序(上から下)は、表示される列の順序(右から左)に対応しています。

下記のボタンを使用して、列を追加、削除、移動します。

ボタン	アイコン	製品名
右へ移動		[選択済みの列]リストで選択した列は、[右へ移動]アイコンをクリックして移動できます。
左へ移動		[選択済みの列]リストで選択した列は、[左へ移動]アイコンをクリックして移動できます。
上へ移動		[上へ移動]アイコンをクリックして、[選択済みの列]リストの選択済みの列を上へ移動することができます(ビュー内では 1 番上の位置が 1 番目の列となります)。
下へ移動		[下へ移動]アイコンをクリックして、[選択済みの列]リストの選択済みの列を下へ移動することができます(ビュー内では 1 番上の位置が 1 番目の列となります)。

#### 下記も参照

[ビューの定義]ダイアログ (ページ 103)

[ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ (ページ 107)

[ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ (ページ 111)

[ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ (ページ 109)

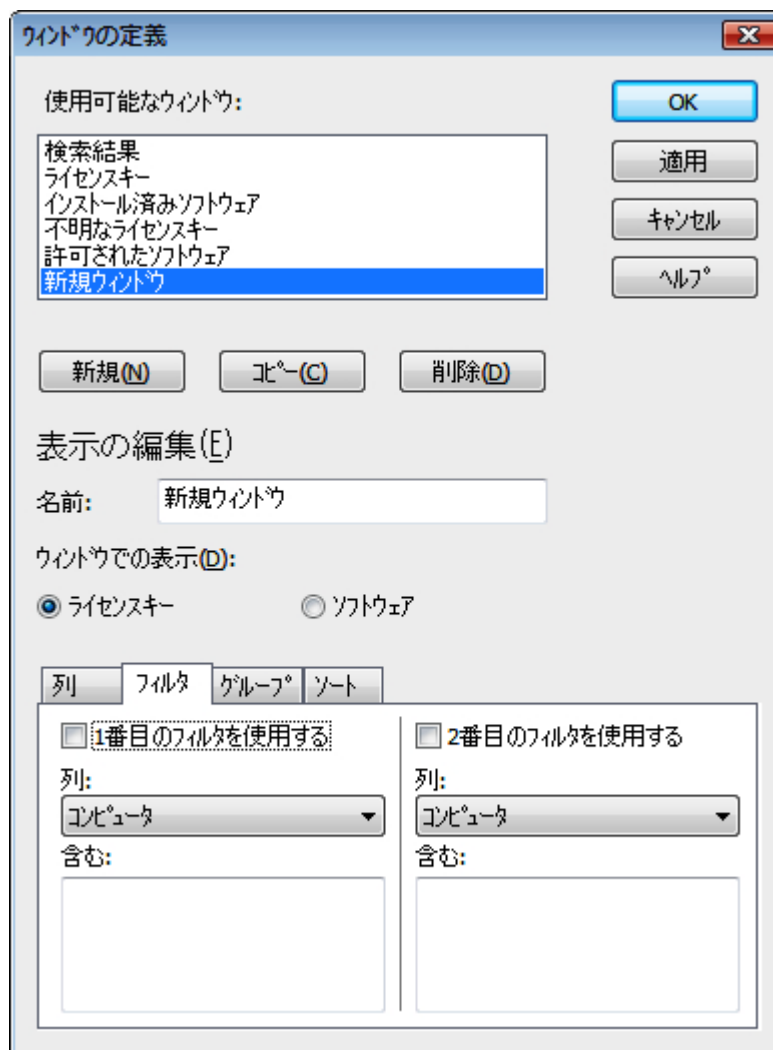
## 6.3 [ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ

### [フィルタ]タブでの設定

[フィルタ]タブは、[ビューの定義]ダイアログの一部分です。

このタブで、表示する情報を限定するフィルタを 2 つ設定できます。

## 6.3 [ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ



## 注記

## フィルタ設定

フィルタの値は、OR 演算子でリンクされます。

[1 番目のフィルタを使用する]および[2 番目のフィルタを使用する]チェックボックスが選択されている場合、これらのフィルタは AND 演算子でリンクされます。

## フィルタの使用

フィルタを使用するには、次の手順を実行します。

1. フィルタを使用するには、[フィルタの使用] ([1 番目のフィルタを使用する]および/または [2 番目のフィルタを使用する])チェックボックスを選択します。
2. [列]リストで、フィルタを適用する列を選択します。
3. [含む:] リスト:
  - このリストがチェックボックスを含んでいる場合は、選択が可能です(OR 演算子で複数の選択が結合されます)。
  - このリストがチェックボックスが含んでいない場合は、選択した検索条件(ユーザーの名前など)を入力します。

## 下記も参照

[ビューの定義]ダイアログ (ページ 103)

[ビューの定義]ダイアログの[列]タブ (ページ 105)

[ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ (ページ 109)

[ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ (ページ 111)

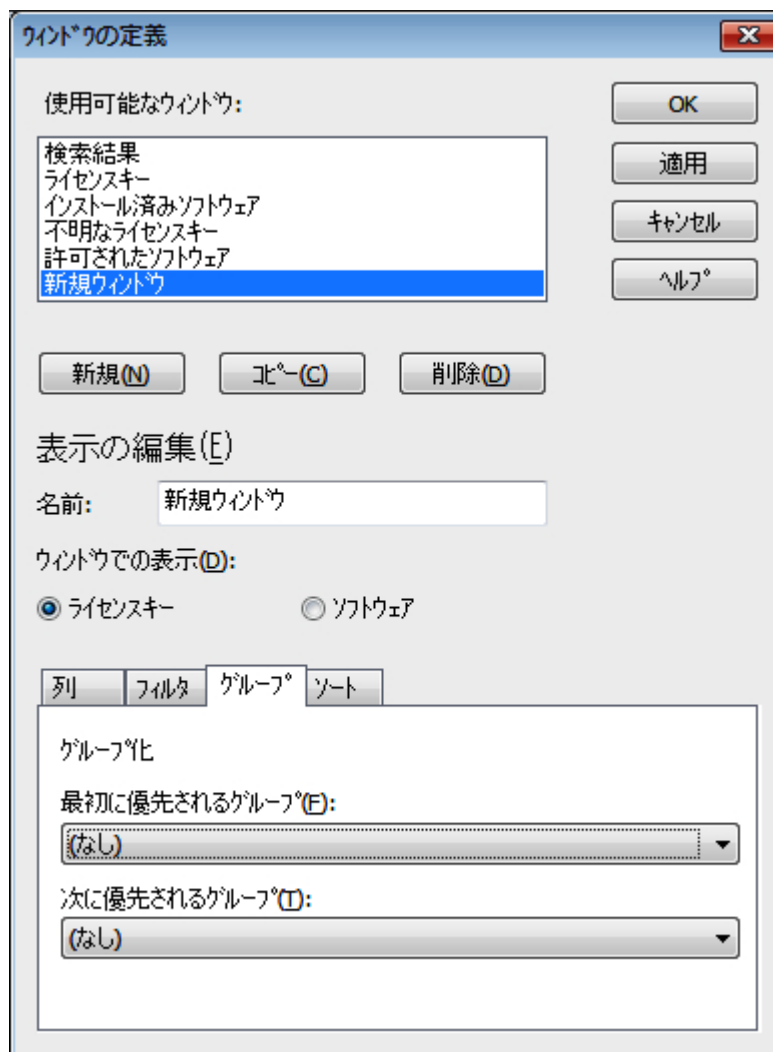
## 6.4 [ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ

### [グループ]タブでの設定

[グループ]タブは、[ビューの定義]ダイアログの一部です。

このタブでグループ化を定義できます。

## 6.4 [ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ



## グループの作成

[1 番目のグループ]および[2 番目のグループ]ドロップダウンリストで、検索結果を自動的にグループ化する順序を設定します。以下のオプションから選択することができます。

- 1 番目のグループ:
- 2 番目のグループ:

## グループ化とソートの優先度

グループ化とソートの優先度は、グループ化された表示によって定義されます。

グループ化とソートが有効な場合、結果はグループにまとめられ、グループ内でソートされて表示されます。

下記も参照

[ビューの定義]ダイアログ (ページ 103)

[ビューの定義]ダイアログの[列]タブ (ページ 105)

[ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ (ページ 107)

[ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ (ページ 111)

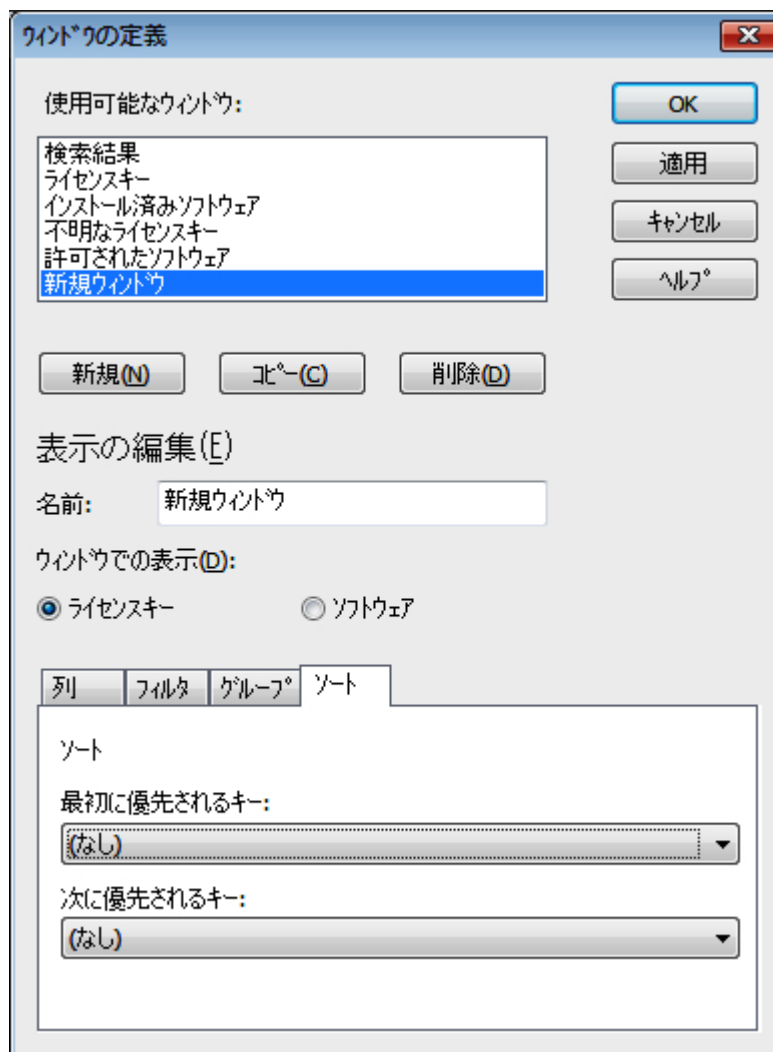
## 6.5 [ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ

### [ソート]タブでの設定

[ソート]タブは、[ビューの定義]ダイアログの一部です。

このタブで、ソートを定義できます。

## 6.5 [ビューの定義]ダイアログの[ソート]タブ



## ソート

[ソート]タブの[1 番目/2 番目のソート]ドロップダウンリストで、検索結果を自動的にソートする順序を選択します。ソートは行単位で実行されます。

- 1 番目のソート順
- 2 番目のソート順

## グループ化とソートの優先度

グループ化とソートの優先度は、グループ化された表示によって定義されます。

グループ化とソートが有効な場合、結果はグループにまとめられ、グループ内でソートされて表示されます。



下記も参照

[ビューの定義]ダイアログ (ページ 103)

[ビューの定義]ダイアログの[列]タブ (ページ 105)

[ビューの定義]ダイアログの[フィルタ]タブ (ページ 107)

[ビューの定義]ダイアログの[グループ]タブ (ページ 109)

## 6.6 [新規フォルダの挿入]ダイアログ

### [新規フォルダの挿入]ダイアログでの設定

[編集]新規フォルダ]メニューコマンドを使用して、[新規フォルダの挿入]ダイアログを開きます。

新規フォルダが一般的なフォルダになるか、またはライセンスキー管理用のライセンスキーフォルダになるかは、挿入される場所によって異なります。ライセンスキーフォルダは、特殊なアイコンで示されます。

次の手順を実行します。

1. 新規フォルダの名前を入力します。
2. [OK]をクリックします。新規フォルダが挿入されます。

## 6.7 [フォルダまたはコンピュータの検索]ダイアログ

### [フォルダまたはコンピュータの検索]ダイアログでの設定

このダイアログでは、内部を検索したいフォルダまたはコンピュータを選択することができます。

[OK] をクリックして、ダイアログの設定を確認します。

## 6.8 [バージョン情報]ダイアログ

### [バージョン情報]ダイアログでの設定

[ヘルプ|バージョン情報]メニューコマンドでは、現在インストールされている Automation License Manager のバージョンが含まれている[バージョン情報]ダイアログが開きます。  
[詳細]をクリックすると、追加情報を取得することができます。

この情報を印刷することもできます。

## 6.9 [ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ

### [ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログでの設定

[ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドでは、[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。

実行するオフライン転送を選択し、[次へ]をクリックします。以下の選択が可能です。

- 開始コードの生成
- 要求コードの生成
- アクティベーションコードの生成
- ライセンスキーの有効化

オフライン転送のウィザードでは、ステップバイステップで転送を行うことができます。

### 下記も参照

オフライン転送 - 開始コードの生成 (ページ 52)

オフライン転送 - 要求コードを生成する (ページ 53)

オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する (ページ 55)

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化 (ページ 56)

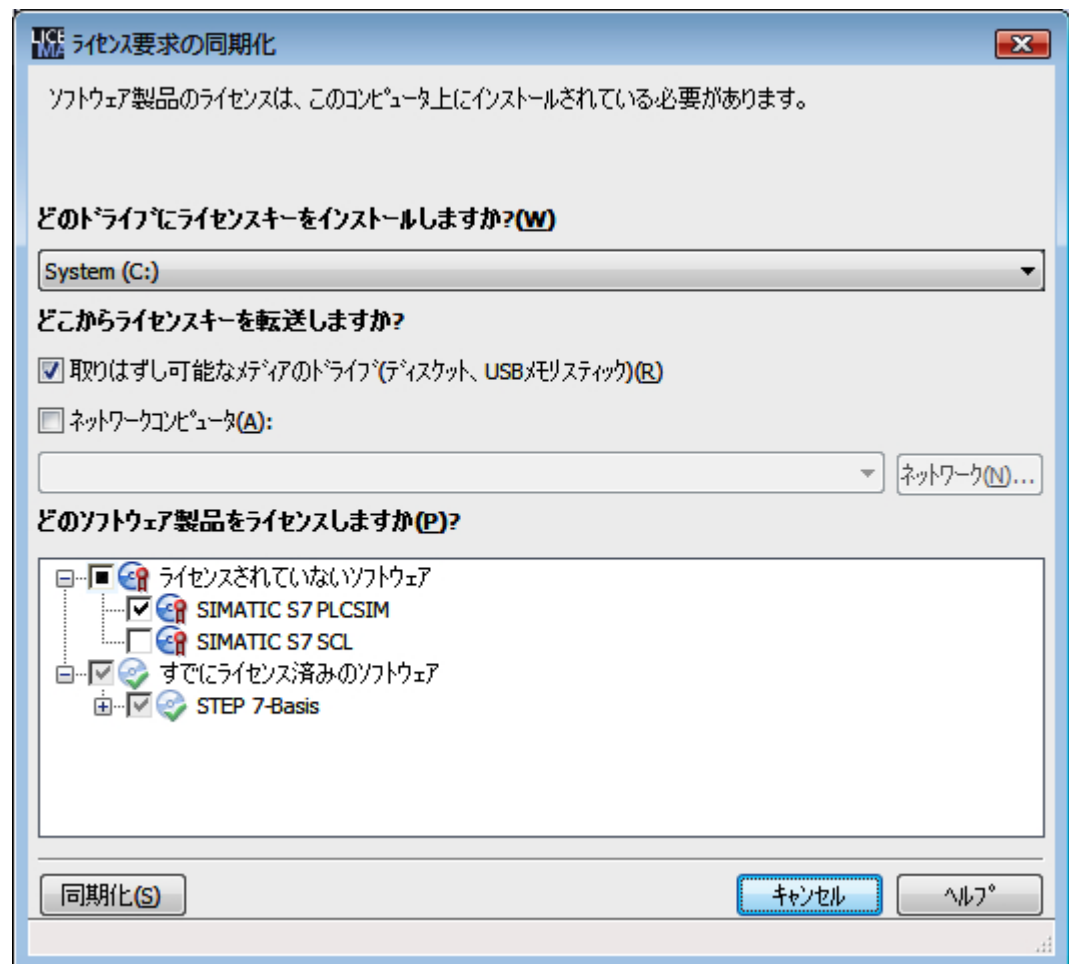
## 6.10 [ライセンス要求の同期化]ダイアログ

### [ライセンス要求の同期化]ダイアログでの設定

[ライセンスキー|ライセンス要求の同期化]メニューコマンドでは、このダイアログボックスが開きます。

このダイアログは、[インストール済みソフトウェア]ビュー、[不足しているライセンスキー]ビュー、または[許可されたソフトウェア]ビューのいずれかを選択している場合にのみ開くことができます。

このダイアログを使用し、お使いのコンピュータ上のまだライセンスキーが利用できないソフトウェア製品にライセンスを与えます。



## 6.11 [ライセンスキーの転送]ダイアログ

どのドライブにライセンスキーをインストールしますか?

ドロップダウンリストからドライブを選択します。

どこからライセンスキーを転送しますか?

必要なオプションを選択します。[ネットワーク]ボタンを使用すると、ネットワーク内の任意のコンピュータに移動することができます。

### [ライセンス供与するソフトウェア製品]

このボックスには、お使いのコンピュータ上の、有効なライセンスキーがないソフトウェア製品が表示されます。既にライセンスがあるソフトウェアは、表示されますが選択することができません。[+]をクリックすると、該当するソフトウェアに対して使用可能なライセンスキーが表示されます。

ここで、表示されているソフトウェア製品の中からライセンスを与えるものを選択し、[同期]をクリックします。ライセンスを与えるソフトウェア製品が選択されると、[同期]ボタンが有効になります。

指定された転送元コンピュータに有効なライセンスキーが含まれていないなどの理由で、選択済みのソフトウェアパッケージがライセンスを受けられない場合は、メッセージを受け取ります。そしてこのダイアログが再度表示されます。

下記も参照

ライセンス要求の決定および同期化 (ページ 49)

## 6.11 [ライセンスキーの転送]ダイアログ

### [ライセンスキーの転送]ダイアログでの設定

[ライセンスキー|転送]メニューコマンドを使用して、[ライセンスキーの転送]ダイアログを開きます。

このダイアログを使用して、コンピュータから別の保存先へライセンスキーを転送することができます。

下記も参照

ライセンスキーの転送 (ページ 42)

## 6.12 [設定]ダイアログ

### [設定]ダイアログで可能な設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、以下の設定を行うことができます。

#### [全般]タブ:

- Automation License Manager に対するアクセス保護を有効/無効にします。(備考参照)
- 外部アクセスのブロックのオプションを有効/無効にします。SIMATIC Logon がインストールされており、[SIMATIC Logon とアクセス保護を有効にする]チェックボックスが選択された場合にのみ、このチェックボックスが有効になります。
- Automation License Manager の言語を指定します。

---

#### 注記

##### Automation License Manager での言語の設定

この場合、一定の必要条件を満たす必要があります。

要件については、「SIMATIC Logon によるロール管理」を参照してください。

---

#### [お気に入り]タブ:

- [既知のコンピュータ]の下に左側に、過去のどこかの時点で既にこのローカル Automation License Manager に接続されたコンピュータが表示されます。
- [検索リスト]の下に右側では、接続されたコンピュータ上で Floating ライセンスキーを検索するための順序を設定します。

#### [接続]タブ

- ここで、他のコンピュータへの接続の設定を定義します。

#### [リセット]タブ

- ユーザー定義設定を既定にリセットしたり、その設定を削除することができます。

#### [ライセンスキー]タブ

- プログラム起動時に、既に存在する未使用のライセンスキーをコンピュータが検索するかどうかを指定します。ライセンスキーのチェックアウトを行うために、コンピュータ上で転送モードを有効にするかどうかを指定します。

## 6.13 [設定]ダイアログの[全般]タブ

## 下記も参照

[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)

[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)

[設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)

[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)

[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)

ロール管理の呼び出しおよび有効化 (ページ 70)

## 6.13 [設定]ダイアログの[全般]タブ

## [全般]タブでの設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、[全般]タブで以下の設定を行うことができます。

リモートコンピュータへのアクセス	製品名
SIMATIC Logon とアクセス保護を有効にする	アクセス保護を有効にする場合は、特定の条件を満たす必要があります。要件については、「SIMATIC Logon によるロール管理」を参照してください。
ライセンスキーのリモート使用を禁止する*	接続されたコンピュータがライセンスキーを使用しないようにする場合は、このチェックボックスを選択します。
ローカルコンピュータからのライセンスキーの転送を禁止する*	ローカルコンピュータからライセンスキーを移動しないようにする場合は、このチェックボックスを選択します。
ローカルコンピュータへのライセンスキーの転送を禁止する*	ローカルコンピュータ上にライセンスキーを追加しないようにする場合は、このチェックボックスを選択します。
言語	ドロップダウンリストで、使用可能な言語を 1 つ選択します。

---

**注記****SIMATIC Logon がインストールされている場合**

SIMATIC Logon がインストールされており、[SIMATIC Logon とアクセス保護を有効にする]チェックボックスが選択されている場合は、\*印のチェックボックスは無効になります。

---

**下記も参照**

[設定]ダイアログ (ページ 117)

[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)

[設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)

[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)

[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護 (ページ 68)

ロール管理の呼び出しおよび有効化 (ページ 70)

## 6.14 [設定]ダイアログの[お気に入り]タブ

### [お気に入り]タブでの設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、[お気に入り]タブで以下の設定を行うことができます。

表示	機能
既知のコンピュータ	ここには、過去にどこかのポイントでローカル Automation License Manager に接続されていたコンピュータが表示されます。
検索リスト	ここに一覧表示されたコンピュータ上で、使用可能な Floating ライセンスキーの検索が実行されます。
[追加]ボタン ➡	コンピュータを使用可能な Floating ライセンスキーの検索に含めるには、このボタンを使用して、左ペインに表示されているそのコンピュータを右ペインに移動します。

## 6.15 [設定]ダイアログの[接続]タブ

表示	機能
[削除]ボタン ←	コンピュータを使用可能な <b>Floating</b> ライセンスキーの検索に含めたくない場合には、このボタンを使用して、右ペインに表示されているそのコンピュータを左ペインに移動します。
[上へ]ボタン ↑	このボタンを使用して、右ペインのコンピュータのソート順序を変更します。有効な <b>Floating</b> ライセンスキーに関して、リストの一番上にあるコンピュータの検索が最初に行われます。
[下へ]ボタン ↓	このボタンを使用して、右ペインのコンピュータのソート順序を変更します。有効な <b>Floating</b> ライセンスキーに関して、リストの一番下にあるコンピュータの検索が最後に行われます。
[削除]ボタン ✕	このボタンを使用して、選択したコンピュータを削除します。

下記も参照

[設定]ダイアログ (ページ 117)

[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)

[設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)

[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)

[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

## 6.15 [設定]ダイアログの[接続]タブ

### [接続]タブでの設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、[接続]タブで以下の設定を行うことができます。

接続設定	製品名
ポート	[現在]に表示されるデフォルト設定(ポート 4410)を変更する場合は、[新規設定]にある接続設定に必要なポートを入力してください。
リモート接続の許可	[現在]に表示されるデフォルト設定を変更する場合は、[新規設定]にあるチェックボックスを選択します。



接続設定	製品名
V4.0 より前のクライアントとの互換モード	このチェックボックスを選択すると、コンピュータを「古いバージョン」(V4.0 未満)の Automation License Manager と接続することができます。
直ちにサービスを再起動	<p>このチェックボックスは、[新規設定]で表示されるオプションを変更した場合にのみ、このダイアログに表示されます。</p> <p>変更を直ちに有効にしたい場合は、このチェックボックスを選択します。</p> <p>このチェックボックスを選択しない場合、行った変更は Automation License Manager サービスまたはコンピュータの再起動後に有効になります。</p>

---

#### 注記

##### Windows ファイアウォールでの設定

コンピュータ接続は、定義したポートまたは Automation License Manager Service が、Windows ファイアウォールの[例外]タブに例外として入力された場合のみ可能です。これらの設定を行うには、管理者権限が必要です。

---

#### 下記も参照

[設定]ダイアログ (ページ 117)

[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)

[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)

[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)

[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

## 6.16 [設定]ダイアログの[リセット]タブ

### [リセット]タブでの設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、[リセット]タブで以下の設定を行うことができます。

## 6.17 [設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ

ユーザー定義設定	製品名
列を標準幅に設定	このチェックボックスを選択した場合、すべての列がデフォルト幅にリセットされ、実行した変更があれば元に戻ります。
ダイアログを標準サイズにリセット	このチェックボックスを選択した場合、すべてのダイアログがデフォルトサイズにリセットされます。
ソートを標準表示にリセット	このチェックボックスを選択した場合、すべてのソート設定が既定のビューにリセットされ、実行した変更があれば元に戻ります。
すべての自己定義表示の削除	このチェックボックスを選択した場合、すべての自己定義表示が削除されます。標準ビューは保持されます。
すべての固定接続されたコンピュータの削除	このチェックボックスを選択した場合、すべての固定接続されたコンピュータが削除されます。
[設定]お気に入り]にある[既知のコンピュータ]のリストの削除	このチェックボックスを選択した場合、[お気に入り]タブの[既知のコンピュータ]のリストからすべてのコンピュータが削除されます(メニューコマンド[設定]お気に入り)。
すべてリセット/削除	このチェックボックスを選択した場合、このタブにリストされたすべてのユーザー定義設定がリセットまたは削除されます。

## 下記も参照

[設定]ダイアログ (ページ 117)

[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)

[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)

[設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)

[設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ (ページ 122)

## 6.17 [設定]ダイアログの[ライセンスキー]タブ

## [ライセンスキー]タブでの設定

[ファイル]設定]メニューコマンドでは、[設定]ダイアログが開き、[ライセンスキー]タブで以下の設定を行うことができます。

ユーザー定義設定	製品名
プログラム起動時のチェック	このチェックボックスを選択すると、既に存在する未使用の <b>Upgrade</b> ライセンスキーをプログラムの起動時にチェックします。  未使用の <b>Upgrade</b> ライセンスキーが見つかった場合、ユーザーは現在それらを使用できる旨のメッセージを受け取ります。
チェックアウト	チェックボックスを有効にすると、ライセンスキーのチェックアウトのための転送モードが有効になります。

### 下記も参照

[設定]ダイアログ (ページ 117)

[設定]ダイアログの[全般]タブ (ページ 118)

[設定]ダイアログの[お気に入り]タブ (ページ 119)

[設定]ダイアログの[接続]タブ (ページ 120)

[設定]ダイアログの[リセット]タブ (ページ 121)

## 6.18 [ライセンスキーの修復]ダイアログ

### [ライセンスキーの転送]ダイアログでの設定

[ライセンスキー|回復]メニューコマンドは、ライセンスキーを回復するためのダイアログを開きます。

次の手順を実行します。

- 回復するライセンスキーを選択し、[ライセンスキー|回復]メニューコマンドを選択します。
- 「ライセンス管理のサポート」に問い合わせて、ダイアログボックスに表示されたデータを転送します。
  - 製品
  - ライセンスキー
  - ライセンス番号
  - 要求コード
- 提供されたアクティベーションコードを入力し、[OK]をクリックします。

**結果:** 不正なライセンスキーは復元され、この時点で使用することができます。

## 6.19 [コンピュータの接続]ダイアログ

---

### 注記

#### ライセンスキーの修復

承認はフロッピーディスク上、ライセンスキーはハードディスク上でのみ修復できます。

---

### 下記も参照

ライセンスキーの転送 (ページ 42)

## 6.19 [コンピュータの接続]ダイアログ

### [コンピュータの接続]ダイアログでの設定

[編集][コンピュータの接続]メニューコマンドを選択すると、[コンピュータの接続]ダイアログが開きます。ここでは、ネットワーク経由でアクセスできるコンピュータへの接続を確立することができます。

### 手順

1. [コンピュータ名]に、到達可能なコンピュータの名前と接続するポートを入力するか、ドロップダウンリストボックスからコンピュータを選択します。  
コンピュータ名には、たとえば、「ComputerName」、または「ComputerName.Domain」と「IP アドレス」を使用することができます。  
ポート **4410** が、既定のポートとして定義されます。このポートを使用したい場合、このポートを **Windows** ファイアウォールの[例外]タブに入力する必要があります。特殊なポート番号の代わりに、**Windows** ファイアウォールの[例外]として、**Automation License Manager** サービスを入力することもできます。これらの設定を行うには、管理者権限が必要です。
2. ネットワーク内のコンピュータを検索するには、[参照]をクリックします。
  - [ネットワーク全体]をダブルクリックします。
  - [Microsoft Windows ネットワーク]をダブルクリックします。
  - コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
  - コンピュータを選択し、[OK]をクリックして選択を確認します。
3. [表示名]の下に、コンピュータの任意の表示名を入力することができます(既定 = computer name)。
4. **Automation License Manager** 再起動後に、入力したコンピュータを使用可能にする場合は、[ナビゲーションウィンドウに常に表示する]チェックボックスを選択します。

5. ライセンスキーを検索するコンピュータのリストに、入力したコンピュータを含める場合は、[検索リストへの追加]チェックボックスを選択します。  
検索リストに含まれるコンピュータが、ユーザーインターフェースのナビゲーションパネルに青色の星印で示されます。
6. [OK]をクリックして確認します。

## 6.20 [固定サイトライセンスキーの転送]ダイアログ

### [固定サイトライセンスキーの転送]ダイアログでの設定

このダイアログは、「固定サイト」ライセンスキーを転送するためのアクティベーションコードを必要とする場合にのみ表示されます。

#### 手順

アクティベーションコードが必要な場合は、次の手順を実行します。

1. ライセンス管理のサポートに問い合わせ、ダイアログボックスに表示されたデータを転送します。
  - 製品名
  - ライセンスキー番号
  - ライセンス番号
  - 要求コード
2. 提供されたアクティベーションコードを入力し、[OK]をクリックします。

**結果:** 固定サイトライセンスキーが転送され、使用可能になります。

## 6.21 [復元ウィザード]のダイアログ

### 6.21.1 復元ウィザード、ライセンスキーの選択

#### ライセンスキーを選択します

[回復ウィザード]を使用して、1つまたは複数のライセンスキーを修復できます。ライセンスキーを回復するには、**A&D** カスタマーサポートからの支援が必要です。

## 6.21 [復元ウィザード]のダイアログ

「ライセンス管理のサポート」は、ハードディスクの故障や異常によって使用できなくなったライセンスキーの修復のお手伝いをします。

### [ライセンスキーの回復ウィザード - ライセンスキーの選択]

- ライセンスキーを選択します
- インストールドライブを選択します

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|回復ウィザード]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーの回復ウィザード - ライセンスキーの選択]ダイアログが開きます。
2. ここでは、修復するライセンスキーを選択します。修復を必要とするライセンスキーが存在する場合は、そのライセンスキーが対応するライセンス番号で表示されます。
3. ライセンスキーを回復させるインストールドライブを選択します。
4. [次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキーの回復ウィザード - リペアコードの入力]ダイアログが開きます。

### 下記も参照

復元ウィザード、リペアコードの入力 (ページ 126)

復元ウィザード、結果 (ページ 127)

## 6.21.2 復元ウィザード、リペアコードの入力

### リペアコードの入力

[回復ウィザード]を使用して、1つまたは複数のライセンスキーを修復できます。ライセンスキーを回復するには、**A&D** カスタマーサポートからの支援が必要です。

「ライセンス管理のサポート」は、ハードディスクの故障や異常によって使用できなくなったライセンスキーの修復のお手伝いをします。

### [ライセンスキーの回復のウィザード - リペアコードの入力]ダイアログ

- ライセンス管理のサポートに問い合わせます
- 要求コードの転送
- リペアコードの入力(アクティベーションコード)

次の手順を実行します。

1. 「ライセンス管理のサポート」(上記参照)に問い合わせ、修復するライセンスキーごとに表示される以下のデータを提供します。
  - 製品
  - ライセンス番号
  - 要求コード
2. 次に、カスタマーサポートは対応する修復コード(アクティベーションコード)を通知します。
3. 対応するアクティベーションコードを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。  
[ライセンスキーの回復ウィザード - 結果]ダイアログが開きます。

下記も参照

復元ウィザード、ライセンスキーの選択 (ページ 125)

復元ウィザード、結果 (ページ 127)

### 6.21.3 復元ウィザード、結果

#### 結果

[回復ウィザード]を使用して、1つまたは複数のライセンスキーを修復できます。ライセンスキーを回復するには、A&D カスタマーサポートからの支援が必要です。

「ライセンス管理のサポート」は、ハードディスクの故障や異常によって使用できなくなったライセンスキーの修復のお手伝いをします。

[ライセンスキーの回復ウィザード - 結果]ダイアログが開きます。

- 回復したライセンスキーの表示
- ステータスメッセージの表示

次の手順を実行します。

1. このダイアログボックスには、回復したライセンスキーが表示されます。[ステータス]列で、その他のステータス情報を確認します。
2. ダイアログを閉じるには、[終了]をクリックします。これで修復操作が終了し、ウィザードが閉じます。

## 6.22 オフライン転送のダイアログ

### 下記も参照

復元ウィザード、ライセンスキーの選択 (ページ 125)

復元ウィザード、リペアコードの入力 (ページ 126)

## 6.22 オフライン転送のダイアログ

### 6.22.1 [ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ

#### [ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログでの設定

[ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドでは、[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。

実行するオフライン転送を選択し、[次へ]をクリックします。以下の選択が可能です。

- 開始コードの生成
- 要求コードの生成
- アクティベーションコードの生成
- ライセンスキーの有効化

オフライン転送のウィザードでは、ステップバイステップで転送を行うことができます。

### 下記も参照

オフライン転送、開始コードの生成 (ページ 129)

オフライン転送、要求コードの生成 (ページ 130)

オフライン転送:アクティベーションコードの生成 (ページ 131)

オフライン転送:ライセンスキーの有効化 (ページ 133)



## 6.22.2 オフライン転送、開始コードの生成

### オフライン転送、開始コードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

#### [ライセンスキー送信ウィザード]ダイアログ

- ライセンスキーを選択します
- 開始コードの生成

次の手順を実行します。

1. ナビゲーションパネルで、必要なライセンスキーがあるドライブを選択します。
2. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
3. [開始コードの生成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが開きます。  
リストには、使用可能なライセンスキーの開始コードがすべて含まれています。
4. 転送したいライセンスキーを表から選択します。
5. [保存]ボタンをクリックします。開始コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]ボタンをクリックします。
7. 開始コードを転送先コンピュータに転送します。例:
  - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - 開始コードを電話で連絡
  - プリントアウトを **FAX** で送信
8. ダイアログを閉じ、要求コードを後で入力したい場合は、[キャンセル]をクリックします。

### 下記も参照

[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ (ページ 128)

オフライン転送、要求コードの生成 (ページ 130)

オフライン転送:アクティベーションコードの生成 (ページ 131)

オフライン転送:ライセンスキーの有効化 (ページ 133)

### 6.22.3 オフライン転送、要求コードの生成

#### オフライン転送、要求コードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーの転送先コンピュータで、このステップを行います。

#### [ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログ

- 開始コードの入力
- 要求コードの生成

#### 注記

##### ライセンスキーのオフライン転送

ライセンスキーをオフラインで転送できるようにするには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、**Automation License Manager** とそのライセンスキーを使用するソフトウェアをインストールする必要があります。

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [要求コードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[開始コードの入力]リストのある[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開きます。
3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式でのデータ転送 (フロッピーディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li><li>2. [開く]ダイアログで、開始コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li><li>3. [開く]ボタンをクリックします。 データが[開始コードの入力]リストに入力されます。</li></ol>
たとえばプリントアウト、FAX、または電話によるデータ転送(データはオペレータが手動で入力する必要があります)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ダイアログテーブルにある[開始コード]列の最初の行をダブルクリックします。</li><li>2. [開始コード]列に開始コードを入力します。</li></ol>

4. [次へ]ボタンをクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開き、[ライセンスキーの選択]リストが表示されます。
5. お使いのコンピュータのドライブに転送するライセンスキーを選択します。
6. [どのドライブにライセンスキーをインストールしますか?]ドロップダウンリストで、お使いのコンピュータのドライブを選択します。
7. [次へ]ボタンをクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログ開き、[要求コードの表示]リストが表示されます。
8. [保存]ボタンをクリックします。要求コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
9. [次へ]ボタンをクリックします。[ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログが開き、[アクティベーションコードの入力]リストが表示されます。
10. 以下のような方法で、要求コードを転送元コンピュータに転送します。
  - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - 要求コードを電話で連絡
  - プリントアウトを **FAX** で送信
11. ダイアログを閉じ、アクティベーションコードを後で入力したい場合は、[キャンセル]をクリックします。

#### 下記も参照

[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ (ページ 128)

オフライン転送、開始コードの生成 (ページ 129)

オフライン転送:アクティベーションコードの生成 (ページ 131)

オフライン転送:ライセンスキーの有効化 (ページ 133)

### 6.22.4 オフライン転送:アクティベーションコードの生成

#### オフライン転送:アクティベーションコードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

#### [ライセンスキー送信ウィザード]ダイアログ

- 要求コードを入力します
- ライセンスキーを削除します
- アクティベーションコードの生成

## 6.22 オフライン転送のダイアログ

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [アクティベーションコードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。  
[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが開き、[要求コードの入力]リストが表示されます。
3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式でのデータ転送 (フロッピーディスク、電子メールなど)	1. [ロード]ボタンをクリックします。 2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. [開く]ボタンをクリックします。 <b>結果:</b> データが[要求コードの入力]リストに入力されます。
たとえばプリントアウト、FAX、または電話によるデータ転送(データはオペレータが手動で入力する必要があります)	1. [ロード]ボタンをクリックします。 2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. ダイアログテーブルにある[要求コード]列の対応する行をダブルクリックします。 4. 要求コードを[要求コードの入力]リストに入力します。

4. [次へ]ボタンをクリックします。[ライセンスキーの削除]リストが開きます。
5. [保存]ボタンをクリックします。アクティベーションコードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]ボタンをクリックします。  
[アクティベーションコードを計算する: 確認] ウィンドウが開きます。
7. [はい] をクリックして、ダイアログの設定を確認します。  
[ライセンスキー送信のウィザード]ダイアログの[ライセンスキーの削除]リストに表示されたライセンスキーが削除され、[アクティベーションコードの表示]ダイアログが開きます。
8. アクティベーションコードを転送先コンピュータに転送します。例:
  - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
  - アクティベーションコードを電話で連絡
  - プリントアウトを FAX で送信
9. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

下記も参照

[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ (ページ 128)

オフライン転送、開始コードの生成 (ページ 129)

オフライン転送、要求コードの生成 (ページ 130)

オフライン転送:ライセンスキーの有効化 (ページ 133)

## 6.22.5 オフライン転送:ライセンスキーの有効化

### オフライン転送:ライセンスキーの有効化

ソフトウェア用ライセンスキーの転送先コンピュータで、この手順を実行します。

#### [ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログ

- アクティベーションコードの入力
- ライセンスキーの有効化

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [ライセンスキーの有効化]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。[ライセンスキー受信ウィザード]ダイアログが開き、[アクティベーションコードの入力]リストが表示されます。  
データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。

データ転送のタイプ	ステップ
電子形式でのデータ転送 (フロッピーディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらのアクティベーションコードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. [開く]ボタンをクリックします。</li> </ol> <p><b>結果:</b>データが[アクティベーションコードの入力]リストに入力されます。</p>
たとえばプリントアウト、FAX、または電話によるデータ転送(データはオペレータが手動で入力する必要があります)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ロード]ボタンをクリックします。</li> <li>2. [開く]ダイアログで、これらのアクティベーションコードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。</li> <li>3. ダイアログテーブルにある[アクティベーションコード]列の対応する行をダブルクリックします。</li> </ol>

## 6.22 オフライン転送のダイアログ

3. データ転送のタイプに応じて、以下の手順を選択します。
4. [次へ]ボタンをクリックします。
5. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

**結果:** 有効なライセンスキーが[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログの[結果]リストに表示されます。

ライセンスキーは、転送元コンピュータから転送先コンピュータに転送されます。

### エラーメッセージ

転送中にエラーが発生すると、[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが開き、[間違ったアクティベーションコード]リストが表示されます。 この場合は、「ライセンス管理のサポート」に問い合わせてください。

### 下記も参照

[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ (ページ 128)

オフライン転送、開始コードの生成 (ページ 129)

オフライン転送、要求コードの生成 (ページ 130)

オフライン転送:アクティベーションコードの生成 (ページ 131)

## 6.22.6 オフライン転送、ライセンスキーの削除

### オフライン転送、ライセンスキーの削除

次の手順を実行します。

1. [ライセンスキーの削除]リストが開きます。
2. [保存]ボタンをクリックします。  
アクティベーションコードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
3. [次へ]ボタンをクリックします。  
[アクティベーションコードの計算:確認]ウィンドウが開きます。
4. [はい]でダイアログを確認します。  
[ライセンスキー送信のウィザード]ダイアログの[ライセンスキーの削除]リストに表示されたライセンスキーが削除され、[アクティベーションコードの表示]ダイアログが開きます。

5. アクティベーションコードを転送先コンピュータに転送します。
  - 例:
    - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
    - アクティベーションコードを電話で連絡
    - プリントアウトを FAX で送信
6. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

## 6.22.7 オフライン転送、アクティベーションコードの表示

### オフライン転送、アクティベーションコードの表示

次の手順を実行します。

1. アクティベーションコードを転送先コンピュータに送信します(たとえば、ライセンスプロファイルファイルは E メールで、またはアクティベーションコードは電話で)。
2. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

## 6.22.8 オフライン転送、不正なアクティベーションコード

### オフライン転送、不正なアクティベーションコード

アクティベーションコードが生成されたときにエラーが発生すると、このダイアログボックスが表示されます。

次の手順を実行します。

- 表示されたエラーメッセージを確認します。
- オフライン転送用に入力したコードを確認します。
- 必要に応じて、ホットラインに問い合わせます。

## 6.22 オフライン転送のダイアログ

### 6.22.9 オフライン転送、ライセンスキーのアクティベーションの結果

#### オフライン転送、ライセンスキーのアクティベーションの結果

このダイアログには、[ライセンスキー受信ウィザード]からの[結果]リストが表示されます。

### 6.22.10 オフライン転送、アクティベーションコードの計算

#### オフライン転送、アクティベーションコードの計算

このダイアログでは、アクティベーションコードの計算要求を確認するように求められます。

通知
アクティベーションコードの計算の確認 確認後、選択したライセンスキーがローカルコンピュータから削除されます。

### 6.22.11 オフライン転送、データのロード

#### オフライン転送、データのロード

このダイアログでは、ライセンスプロファイルファイルをロードするように求められます。

通知
ライセンスプロファイルファイルのロードの確認 手動で入力したコードが、上書きされます。



# 用語集

## [定義]ビュー

[管理]ビューの内容および外観を定義します。

## Assignable License Key

指定されたハードウェアシリアル番号を持つハードウェアのみが使用できるライセンスキー。このライセンスキーに関連付けられたライセンスが、そのハードウェアに割り当てられます。

## Assigned License Key

このライセンスキーは、システムを使用するために、そのシステムに割り当てられます。

## Count relevant ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で規定されたタグの数に制限されます。

## Countable Objects ライセンス

このライセンスによるソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で既定されたアプリケーション固有のオブジェクト数に限定されます。

## Demo ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で規定された使用条件に制限されます。

**Demo** ライセンスの残り期間に関する簡単な情報が、タスクバーの情報領域に表示されます。

## Floating ライセンス

同時にソフトウェアを使用するための無期限の権利。このソフトウェアは複数回インストールできます。

## Master ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。

## PG/PC

PG = プログラミングデバイス

PC = パーソナルコンピュータ

## Rental ライセンス

このライセンスは、使用許諾書の規定のように操作時間／操作日数を一定の期間に制限するか、または期間が満了するまで、ソフトウェアを使用することを許可します。

## Single ライセンス

このタイプのライセンスによって、1つのコンピュータで無期限にソフトウェアの使用が許可されます。使用のタイプはライセンスの認定書によって定義されます。

## Trial ライセンス

このライセンスは、ソフトウェアの使用を初めて使用したときからの指定日数に制限します。このソフトウェアは、テストおよび検証の目的以外には使用できません(ライブラリは除外)。

## Unlimited ライセンス

このライセンスでは、ソフトウェアを無制限に使用することができます。

## Upgrade ライセンス

Upgrade ライセンスを使用すると、古いバージョンのライセンスを新しいバージョンのライセンスに変換することができます。アップグレードでは、システムステータスの特定の必要条件が要求されることがあります。コンフィグレーションの制限を拡張する場合、アップグレードが必要となることがあります。

## インストール済みのソフトウェア

コンピュータ上にインストールされているソフトウェア。

## エンジニアリングソフトウェア

自動化ソリューションの作成、テスト、およびコミッションに使用されるソフトウェアです。

## サービスパック

既存のソフトウェア内のエラーを解消する、正式に配布されるパッケージ。新規ライセンスは必要としません。

## ソフトウェアオプション

ライセンス管理の点から、他のソフトウェアまたはファームウェアに法的に依存するソフトウェア

## ライセンス

ライセンス契約の規則に従ってソフトウェアを使用するライセンス所有者の権利。

## ライセンスキー

厳密には 1 つ以上のライセンスの所有権と同等である、保存された情報。

## ライセンスキーの格納場所

ライセンスキーの格納には、次の場所が適しています: ライセンスキーがあるまたはライセンスキーを保存できる、ドライブ(ハードディスク、フロッピーディスクドライブ、USB メモリスティック)、コンピュータ(マイコンピュータまたは接続されたコンピュータ)、およびライセンスキーフォルダ。

## ライセンス証明書(CoL)

ライセンスが書かれた証書。ライセンスの法的な所有者が記載されています。ライセンスを一意に識別するためのライセンス番号が含まれます。

## ライセンス番号

ライセンス番号は、ライセンスの一意な識別子です。

### 組み込み(ランタイム)システム

ランタイムソフトウェアが動作する非 **Windows** システムを意味します。通常は特殊なハードウェアです。

# 索引

[

[Automation License Manager についてのヘルプ], 100  
[お気に入り]タブでの設定, 119  
[グループ]タブでの設定, 109  
[コンピュータの接続], 64  
[コンピュータの接続]ダイアログ, 124  
[ソート]タブでの設定, 111  
[バージョン情報]ダイアログ, 114  
[ビュー]メニュー, 92  
[ビュー]メニューのコマンド, 92  
[ビューの定義]ダイアログ, 103  
    [グループ]タブでの設定, 109  
    [ソート]タブでの設定, 111  
    [フィルタ]タブでの設定, 107  
    [列]タブでの設定, 105  
[ビューの定義]ダイアログでの設定, 103  
[ファイル]メニュー, 75  
[ファイル]メニューのコマンド, 75  
[フィルタ]タブでの設定, 107  
[フォルダまたはコンピュータの検索]ダイアログ, 113  
[ヘルプ]メニュー, 100  
[ヘルプ]メニューのコマンド, 100  
[ライセンスキー]タブでの設定, 122  
[ライセンスキー]メニュー, 88  
[ライセンスキー]メニューのコマンド, 88  
[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログ, 114, 128  
[ライセンスキーの修復]ダイアログ, 123  
[ライセンスキーの転送]ダイアログ, 116  
[ライセンス要求の同期化]ダイアログ, 115  
[リセット]タブでの設定, 121  
[ログ]および[チェックアウトログ]ビューでの作業, 37  
[ログ]ビューのステータスアイコンの意味, 29  
[管理]ビューでの作業, 34  
[検索]ビューでの作業, 36  
[固定サイトライセンスキーの転送]ダイアログ, 125  
[新規フォルダの挿入]ダイアログ, 113  
[接続]タブでの設定, 120  
[設定]ダイアログ, 117  
    [お気に入り]タブでの設定, 119  
    [ライセンスキー]タブでの設定, 122  
    [リセット]タブでの設定, 121  
    [接続]タブでの設定, 120  
    [全般]タブでの設定, 118

[設定]ダイアログを開く, 25  
[全般]タブでの設定, 118  
[編集]メニュー, 81  
[編集]メニューのコマンド, 81  
[列]タブでの設定, 105

「

「ライセンス管理のサポート」によるワールドワイドの支援, 12  
「古いソフトウェアバージョン」の使用に関する注記, 17  
「古い認証」で有効となるソフトウェア製品, 18  
「転送」コマンドを使用したライセンスキーの転送, 43

## A

### Automation License Manager

[ビュー]メニューのコマンド, 92  
[ファイル]メニューのコマンド, 75  
[ヘルプ]メニュー, 100  
[ライセンスキー]メニューのコマンド, 88  
[編集]メニューのコマンド, 81  
アンインストール, 15  
インストール, 14  
インストール済みライセンスキーの表示, 39  
インストール要件, 13  
キーボードショートカット, 31  
ツールバーのアイコン, (ツールバー), (ツールバー)  
ナビゲーションパネルおよびオブジェクト領域, 23  
ファンクションの概要, 8  
フォルダの作成, 48  
プラグインのインストール, 15  
メニューコマンド, 75  
ユーザーインターフェース, 21  
ライセンスキーの回復, 43  
ライセンスキーの確認, 41  
ライセンスキーの転送, 42  
ライセンスのアップグレード, 16  
ライセンスの要件, 49  
ライセンス管理のサポート, 12  
概要, 7  
機能権限および役割の割り当て, 69  
提供範囲, 12  
標準ライセンスタイプの概要, 9

Automation License Manager での機能権限および役割の割り当て, 69

Automation License Manager のアンインストール, 15

Automation License Manager のインストール, 14

Automation License Manager のコンポーネント, 12

Automation License Manager のステータスアイコン, 28

Automation License Manager のメニューコマンド, 75

Automation License Manager のユーザーインターフェース, 21

Automation License Manager のライセンス, 9

Automation License Manager の機能, 8

Automation License Manager の紹介, 7

Automation License Manager の設定, 25

Automation License Manager の表示

[ログ]および[チェックアウト]ビュー, 37

[管理]ビュー, 34

[検索]ビュー, 36

標準ビュー, 32

## F

Floating ライセンスキーへのアクセス, 63

## S

SIMATIC Logon によるロール管理, 68

SIMATIC Logon のロール管理によるアクセス保護, 68

SIMATIC Logon ロール管理

呼び出しと有効化, (必要条件)

## W

Web ライセンスキーのダウンロード, 60

ボタンの意味, 61

概要, 60

基本, 59

Web ライセンスキーのダウンロードの概要, 60

Web ライセンスキーのダウンロードの基本, 59

Web ライセンスキーのダウンロードの要件, 59

Web ライセンスキーのダウンロード用ボタン, 61

## ア

アクティベーションコードの計算, 136

アクティベーションコードの生成, 55, 131

アクティベーションコードの表示, 135

## イ

インストールされたソフトウェアのステータスアイコンの意味, 29

インストール済みソフトウェアの表示, 40

インストール済みライセンスキーの表示, 39

インストール要件, 13

## ウ

ウィザードを使用したライセンスキーの回復, 44

## オ

オブジェクト領域のテーブル列, 23

オフライン転送 - ライセンスキーの有効化, 56

オフライン転送 - 開始コードの生成, 52

オフライン転送、アクティベーションコードの計算, 136

オフライン転送、アクティベーションコードの表示, 135

オフライン転送、データのロード, 136

オフライン転送、ライセンスキーのアクティベーションの結果, 136

オフライン転送、ライセンスキーの削除, 134

オフライン転送、開始コードの生成, 129

オフライン転送、不正なアクティベーションコード  
アクティベーションコードが不正です, 135

オフライン転送、要求コードの生成, 130

オフライン転送:アクティベーションコードの生成, 131

オフライン転送:ライセンスキーの有効化

ライセンスキーの有効化, 133

オフライン転送 - アクティベーションコードを生成する, 55

オフライン転送の手順, 51

オフライン転送の手順の概要, 51

オフライン転送 - 要求コードを生成する, 53

## コ

コンピュータ接続のエラー, 65

コンピュータ接続のエラーに関する注意, 65

## ツ

ツールバーのアイコン, 30, 73

## デ

データのロード, 136

## ド

ドラッグアンドドロップを使用したライセンスキーの転送, 42

## ネ

ネットワークのコンピュータの参照, 65  
 ネットワークの既存ライセンスキーの参照, 62  
 ネットワーク経由で接続されたコンピュータ, 64  
 ネットワーク内の使用されていないライセンスキーでのソフトウェアの使用, 62

## ハ

ハードディスクの最適化に関する注記, 18  
 ハードディスクの最適化のルール, 19

## フ

フォルダの意味, 30  
 フォルダの作成, 48  
 フォルダ内のライセンスキーの保存と管理, 45

## プ

プラグインのインストール, 15  
 プログラム実行遅延時のフィードバック, 27

## メ

メインエントリ, 46  
 メニューコマンドの概要, 75

## ラ

ライセンスキーでアクティベートされたソフトウェア製品, 17  
 ライセンスキーのインストール, 39  
 ライセンスキーのオフライン転送, 51  
 ライセンスキーのステータスアイコンの意味, 28  
 ライセンスキーの回復, 43  
 ライセンスキーの回復ウィザード, 44

ライセンスキーの確認, 41  
 ライセンスキーの管理, 45  
 ライセンスキーの転送, 42  
 ライセンスキーの有効化, 56  
 ライセンスキーの有効化の結果, 136  
 ライセンスキーフォルダを使用した操作, 45  
 ライセンスキーフォルダ内のライセンスキーの保存, 46  
 ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンスプロファイルファイル, 58  
 ライセンスキーを削除します, 134  
 ライセンスキーを選択します, 125  
 ライセンスのアップグレード, 16  
 ライセンスの有効期限, 47  
 ライセンスの有効期限の表示, 47  
 ライセンスプロファイルファイル, 58  
 ライセンスプロファイルファイルのデータ, 58  
 ライセンス要求の決定および同期化, 49

## リ

リペアコードの入力, 126

## ロ

ロール管理に関する用語の定義, 68  
 ロール管理の呼び出しおよび有効化, 70

## 開

開始コードの生成, 52, 129

## 現

現在の処理に関する情報, 27

## 構

構造化された保存先でのフォルダの使用, 48

## 使

使用可能なキーボードショートカットの概要, 31

## 切

切り取りと貼り付けによるライセンスキーの転送, 42

## 提

提供範囲, 12

## 標

標準ビューの概要, 32

## 復

復元ウィザード、ライセンスキーの選択, 125

復元ウィザード、リペアコードの入力, 126

復元ウィザード、結果, 127

## 要

要求コードの生成, 53, 130